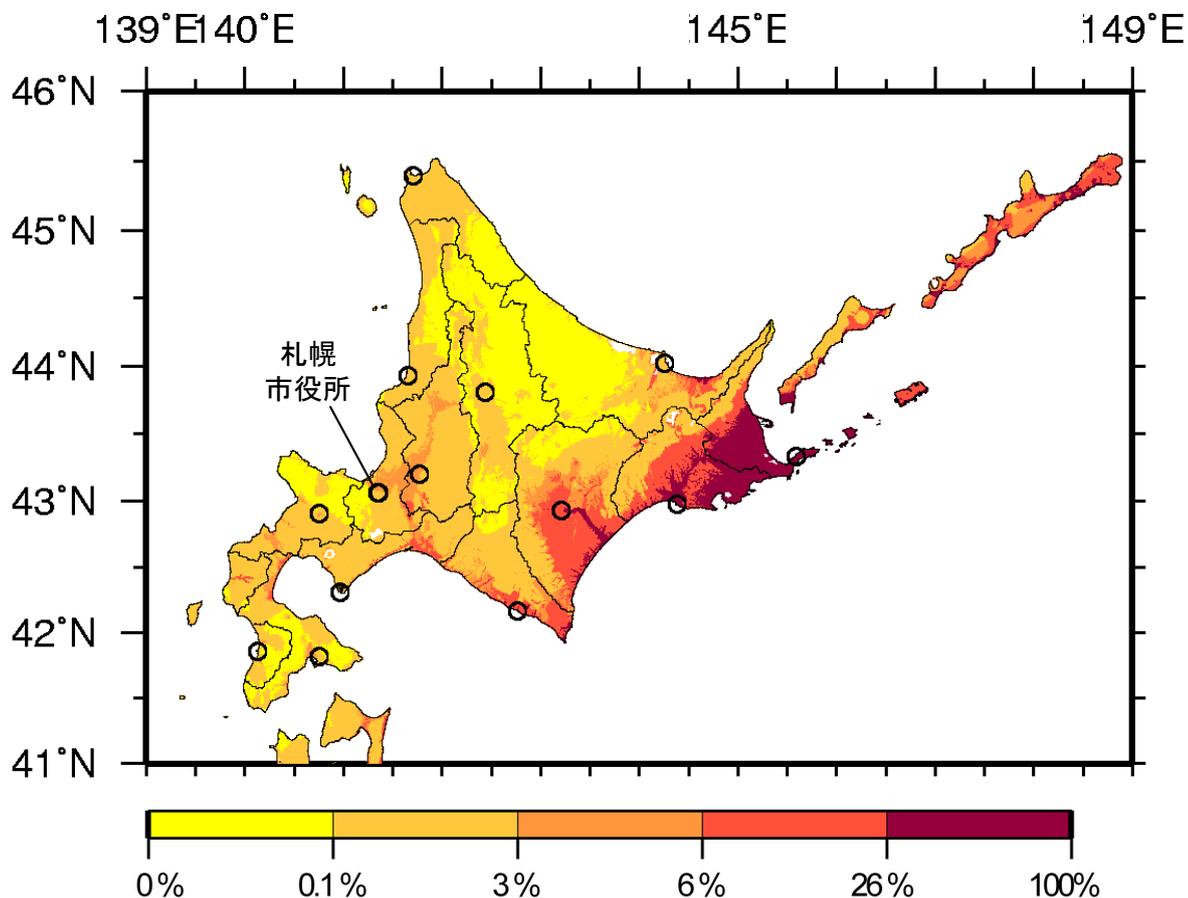
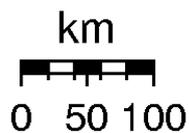


北海道



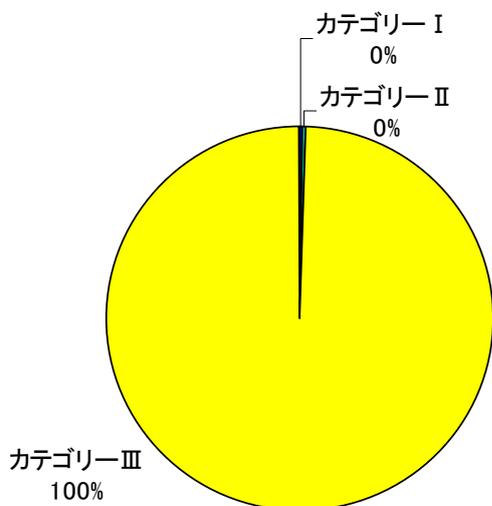
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

北海道の南東側（太平洋側）では、海溝型地震（カテゴリーⅠ、Ⅱ）の影響により、確率・震度ともに大きくなっています。また山地に比べると、盆地や平野部、河川沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

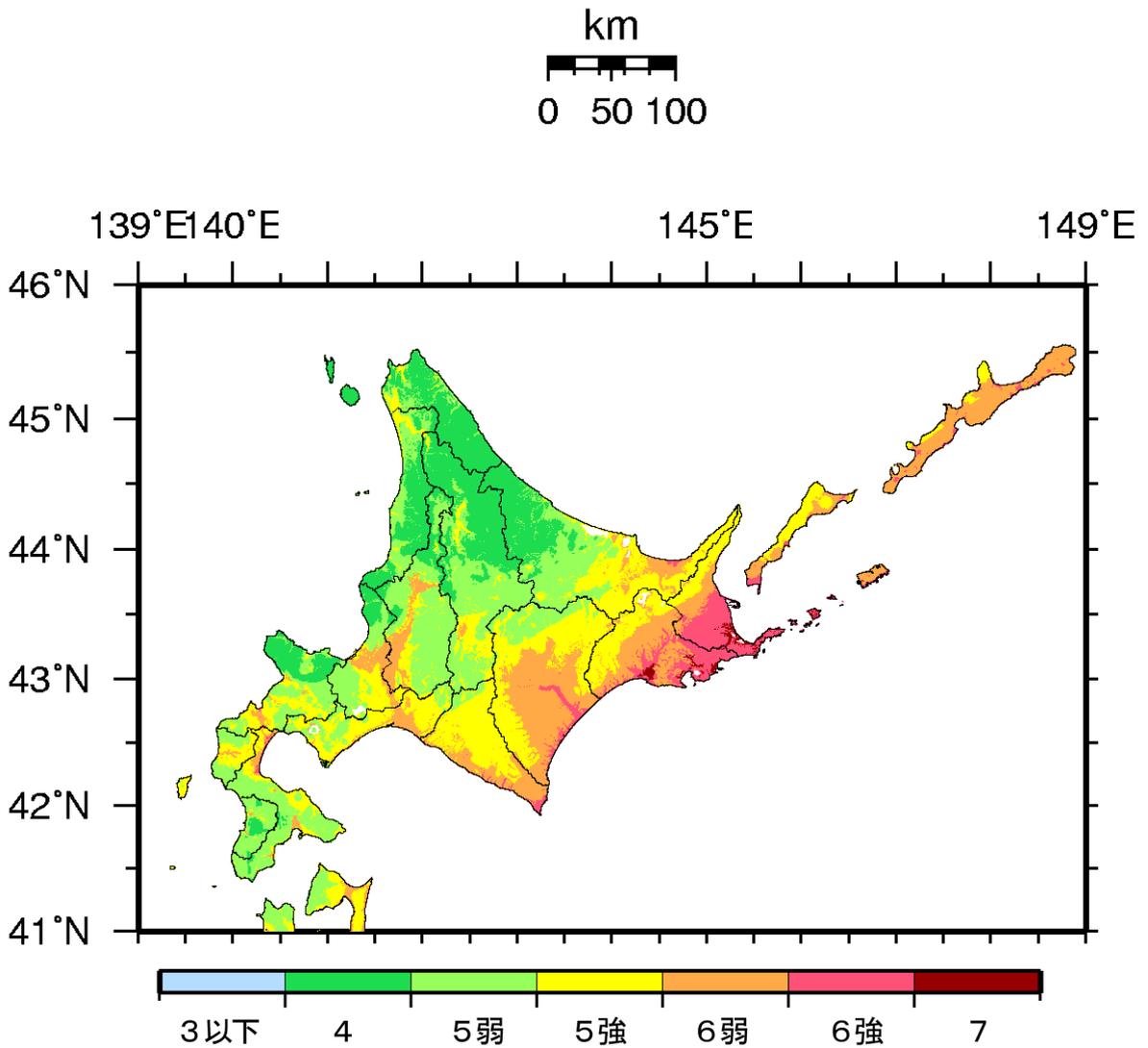
札幌市役所：やや高い。

主要活断層帯の地震（カテゴリーⅢ）の影響度が最も高くなっています。特に地震発生確率が高い石狩低地東縁断層帯による影響が大きいと考えられます。

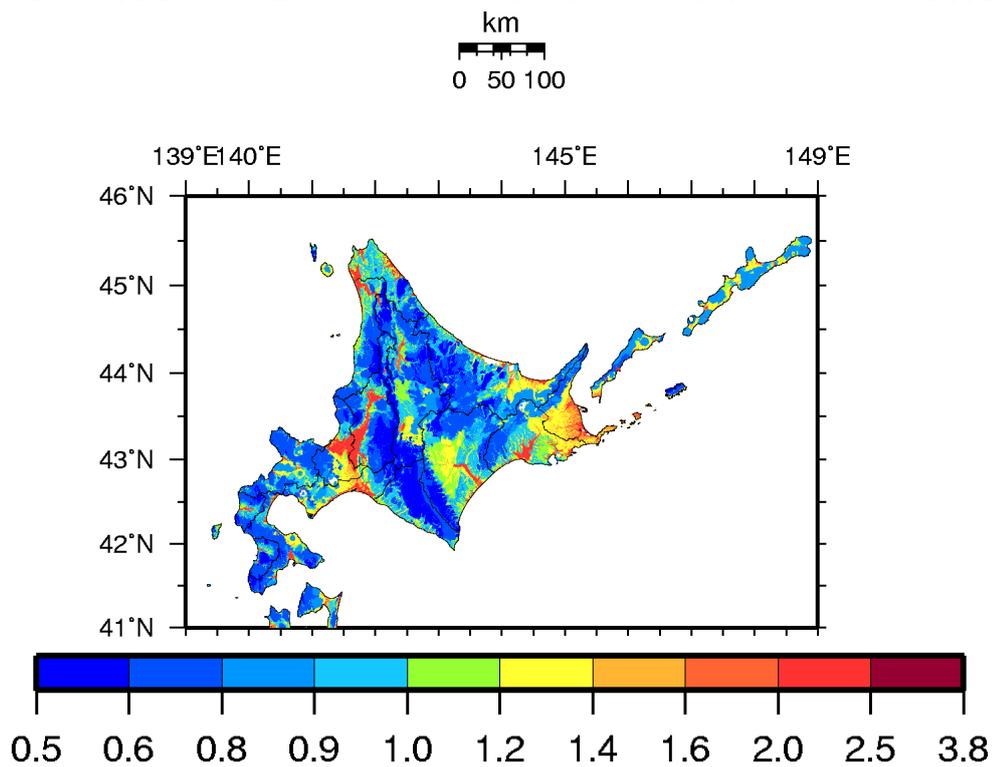


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

札幌市役所の位置における今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する地震カテゴリー別の影響度

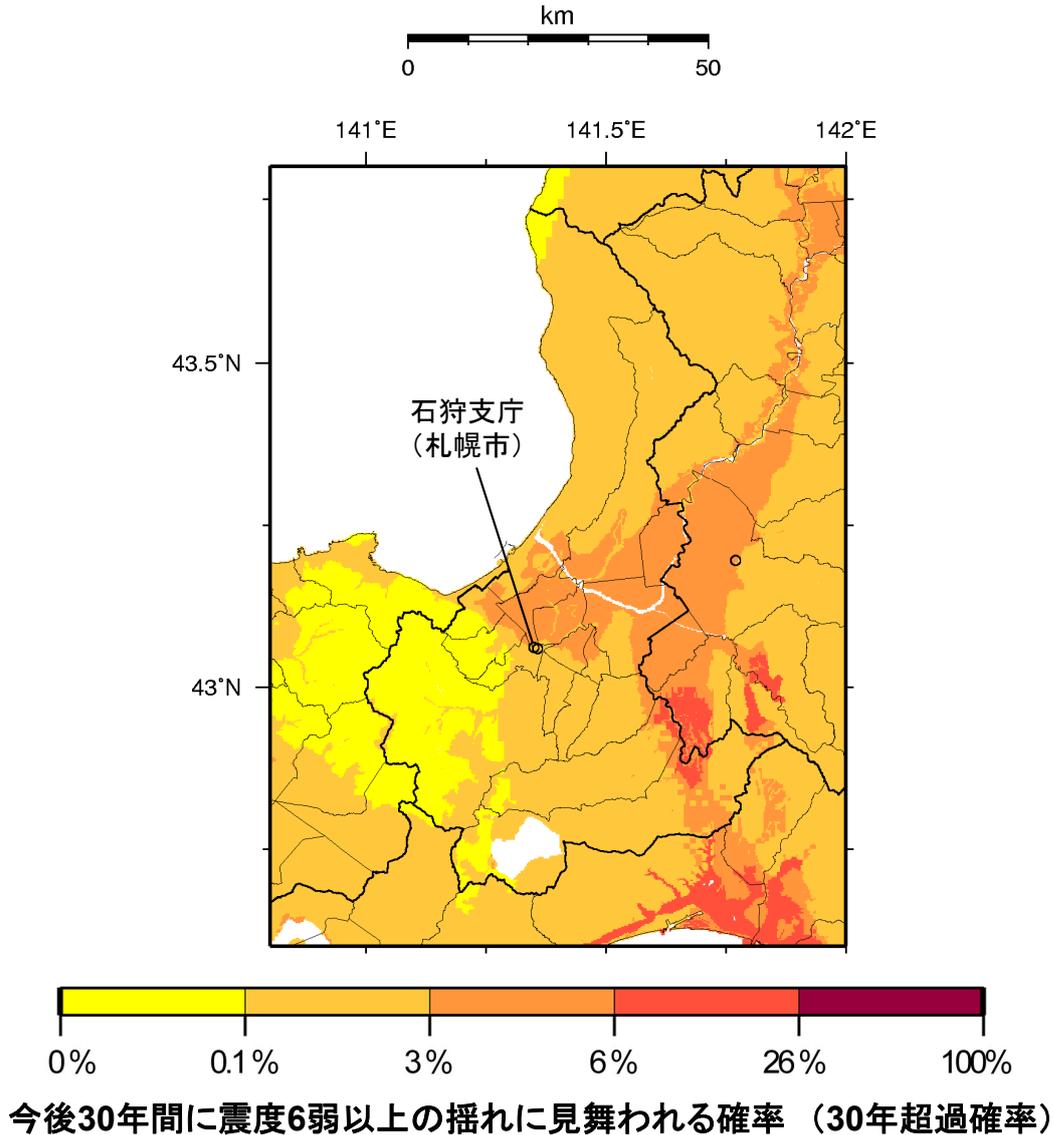


今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度



表層地盤増幅率

石狩支庁

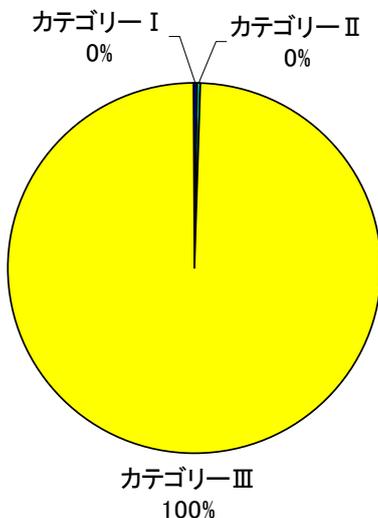


地図概況

西部や北部の山地（増毛山地など）に比べると、中央部の石狩平野では地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。東側ほど、石狩低地東縁断層帯による地震（カテゴリーⅢ）の影響が大きくなります。

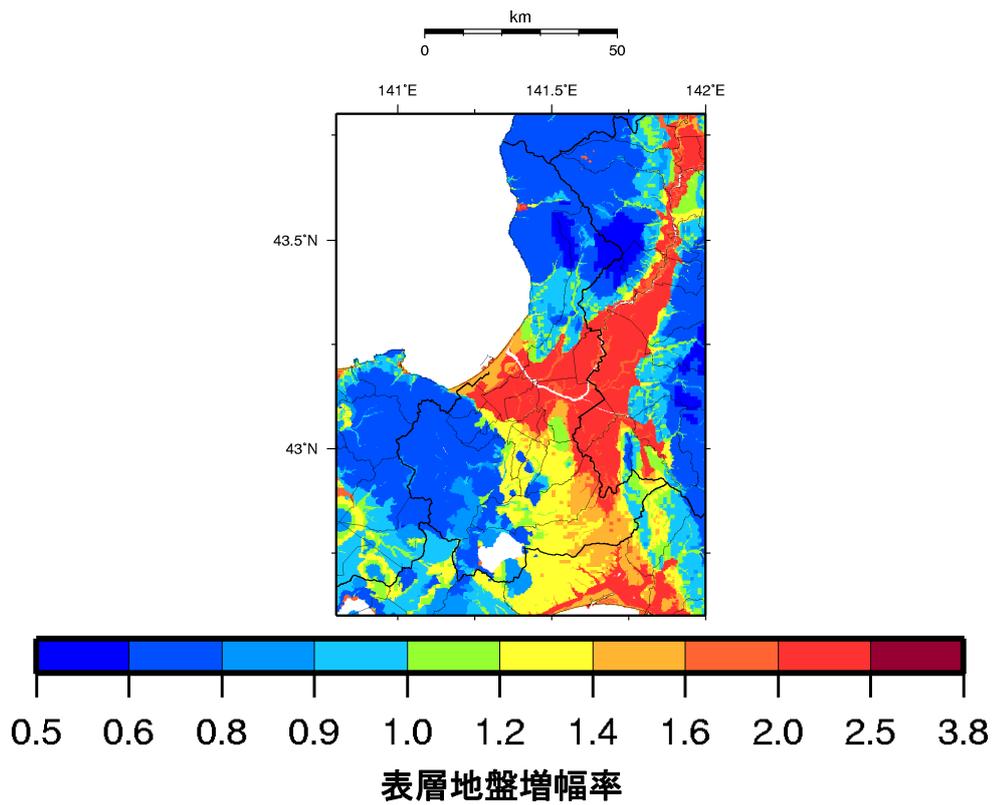
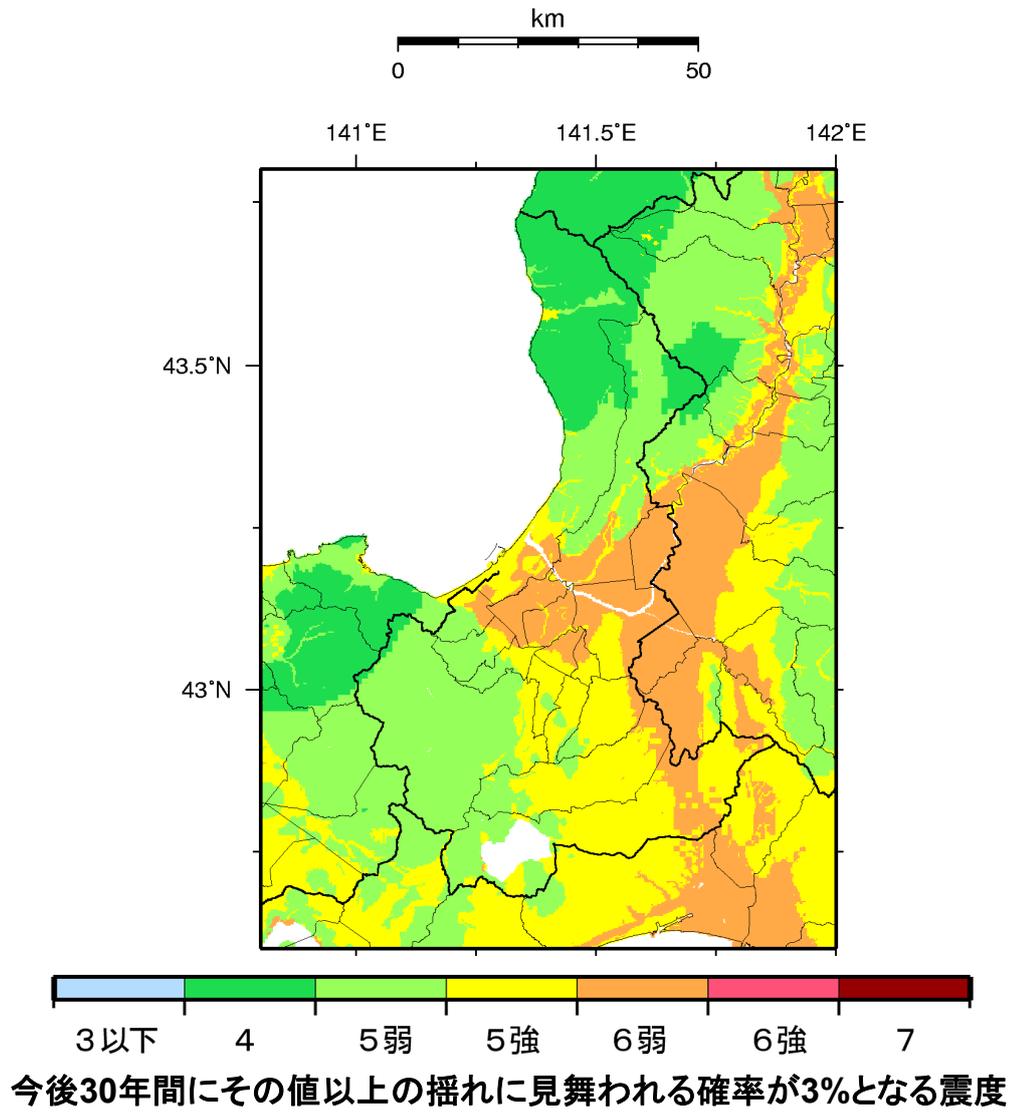
石狩支庁（札幌市）：やや高い。

主要活断層帯の地震（カテゴリーⅢ）の影響度が最も高くなっています。特に地震発生確率が高い石狩低地東縁断層帯による影響が大きいと考えられます。

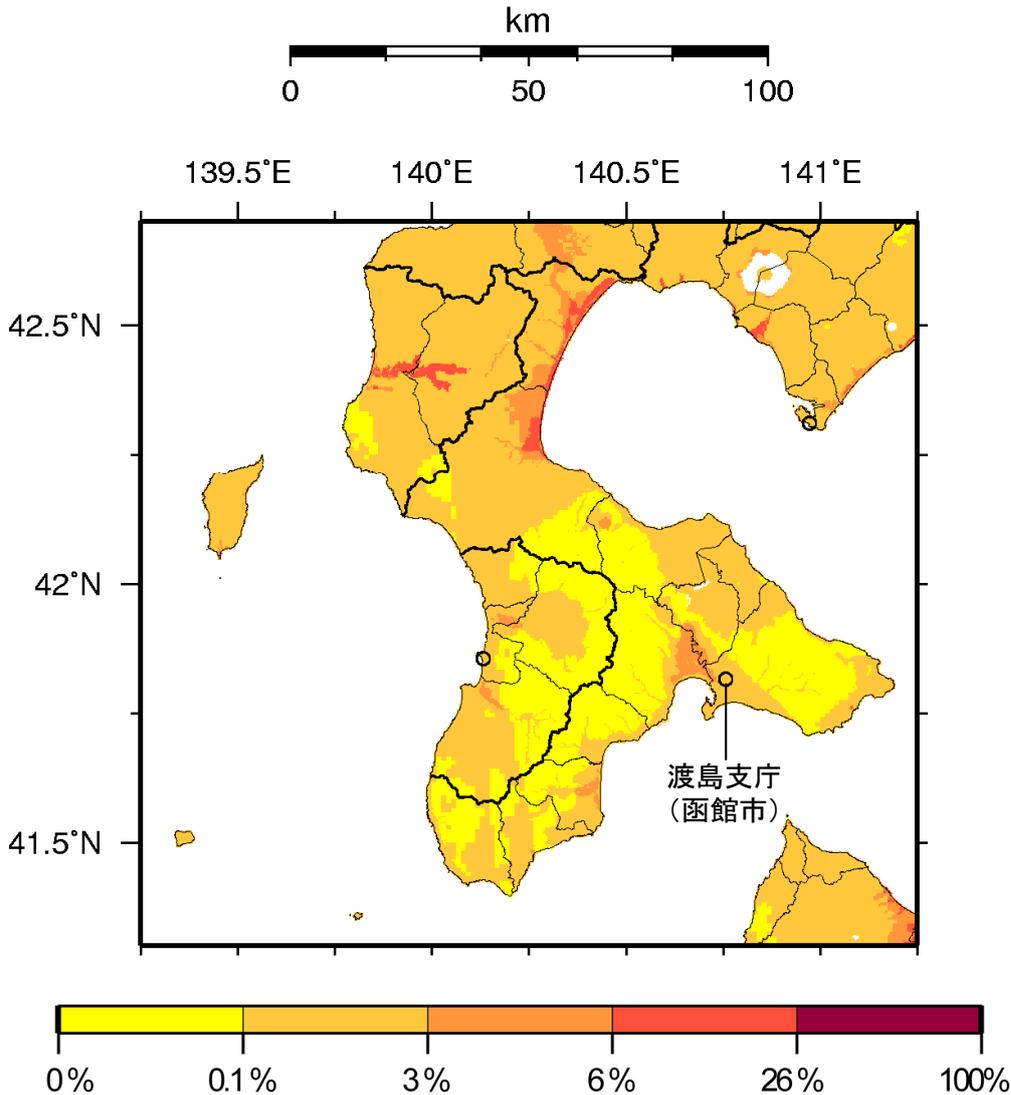


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

石狩支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



渡島支庁



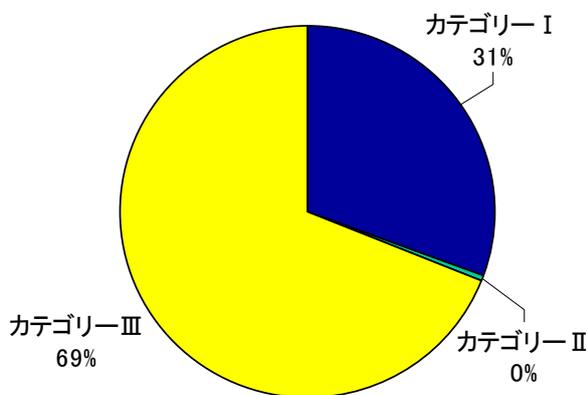
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

渡島半島の山地に比べると、沿岸の平野部（函館平野や内浦湾岸など）や河川沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。また北部には、黒松内低地断層帯の地震（カテゴリⅢ）の影響が見られます。

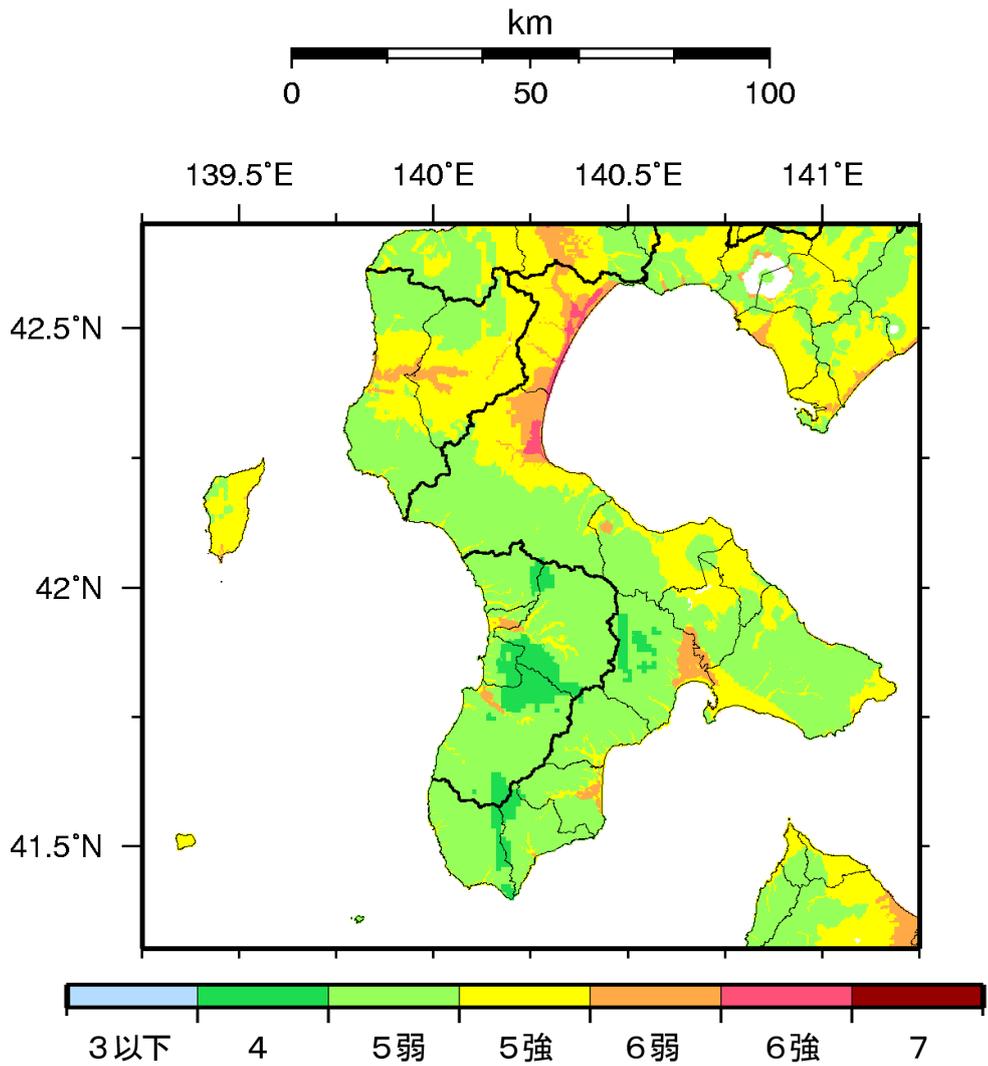
渡島支庁（函館市）：やや高い。

活断層が特定されていない場所で発生する地震（カテゴリⅢ）の影響度が最も高くなっています。また、三陸沖北部の地震（カテゴリⅠ）の影響度も高くなっています。

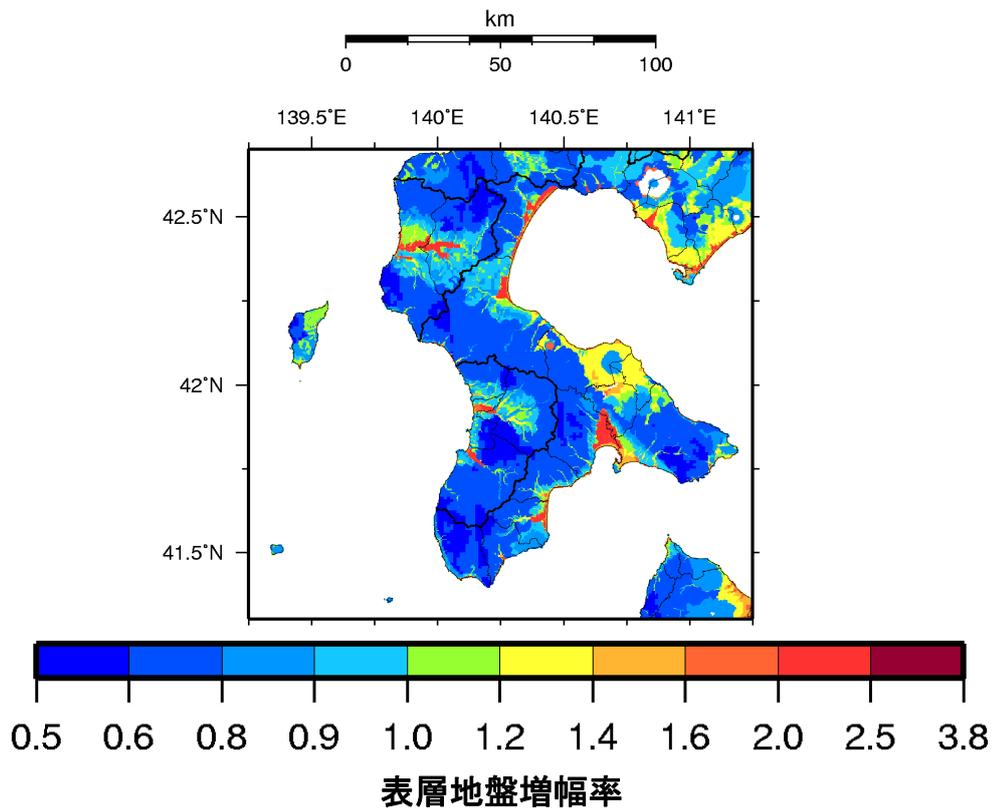


カテゴリⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

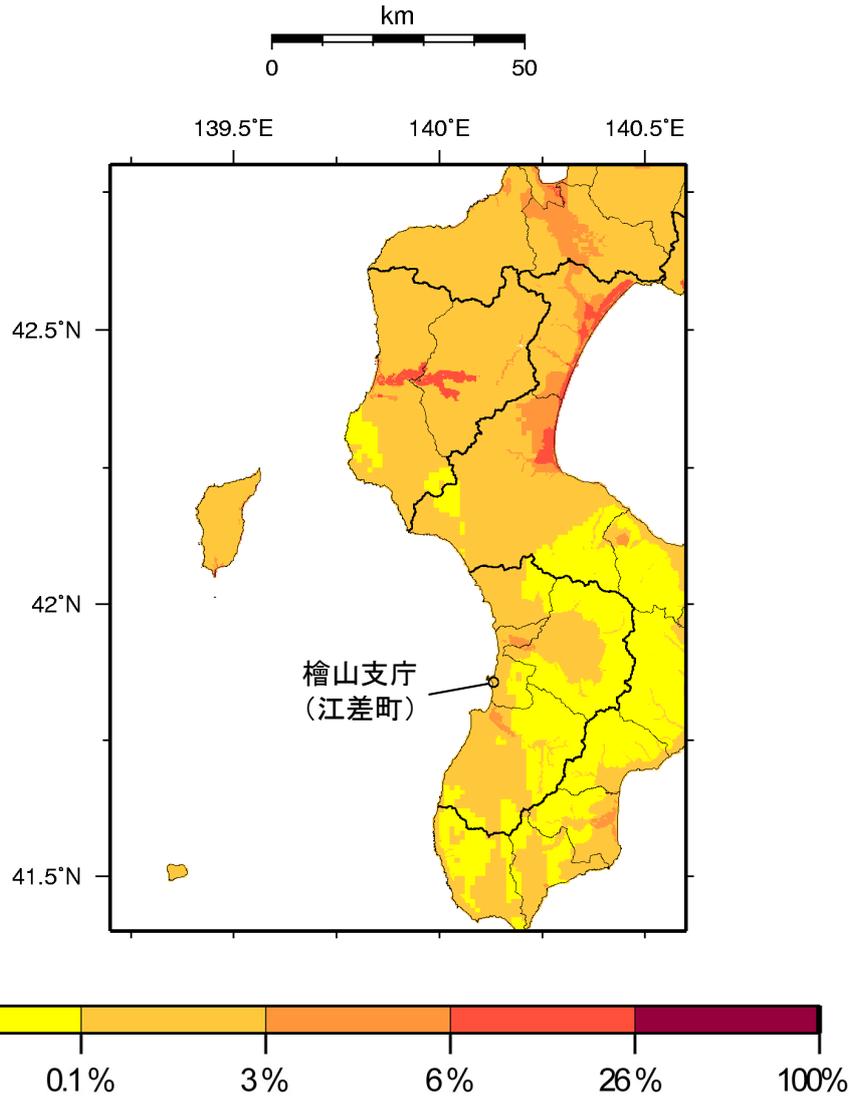
渡島支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリ別の影響度



今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度



檜山支庁



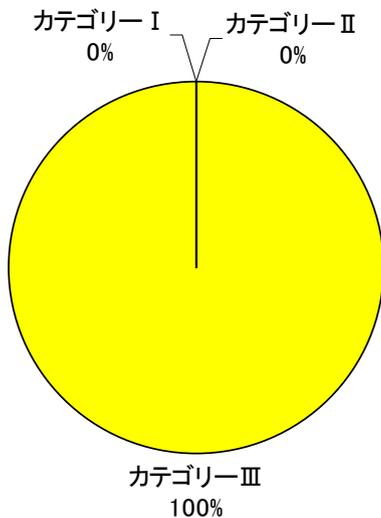
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

半島部や島嶼の山地に比べると、日本海沿岸の平野部、その中でも河川沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。また北部には、黒松内低地断層帯の地震(カテゴリーⅢ)の影響が見られます。

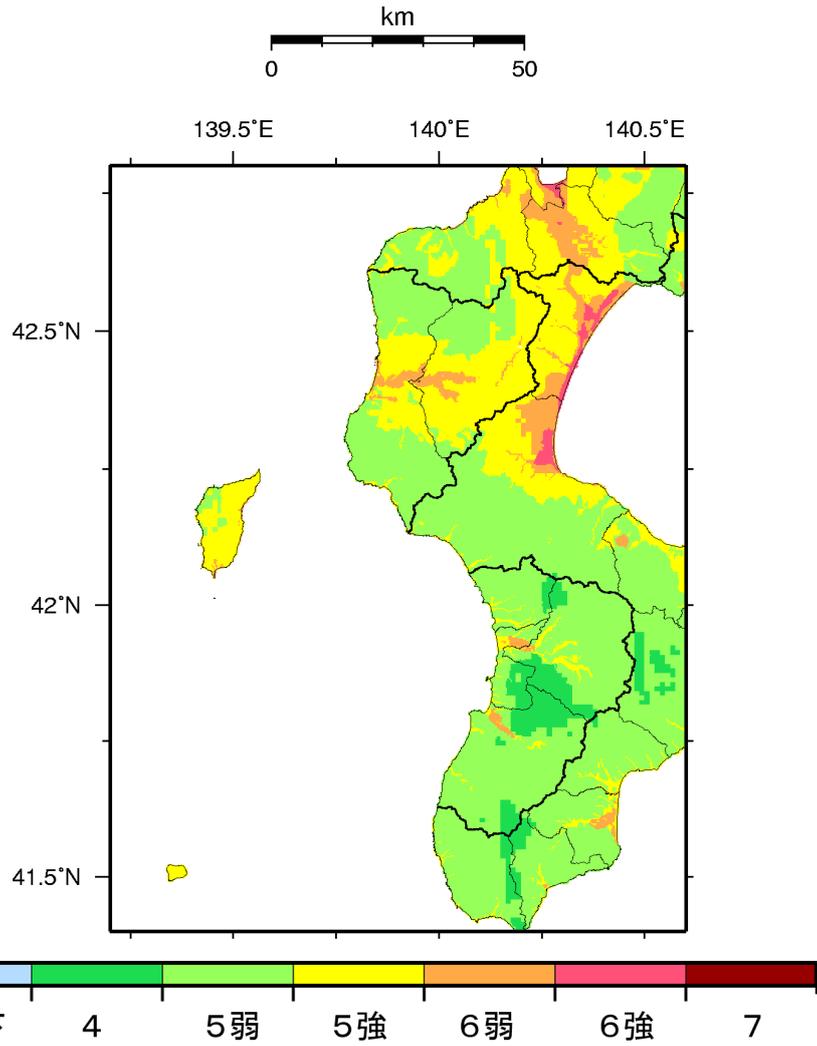
檜山支庁(江差町)：やや高い。

活断層が特定されていない場所で発生する地震(カテゴリーⅢ)の影響度が最も高くなっています。また、日本海東縁部の震源断層を予め特定しにくい地震(カテゴリーⅢ)の影響度もやや高くなっています。

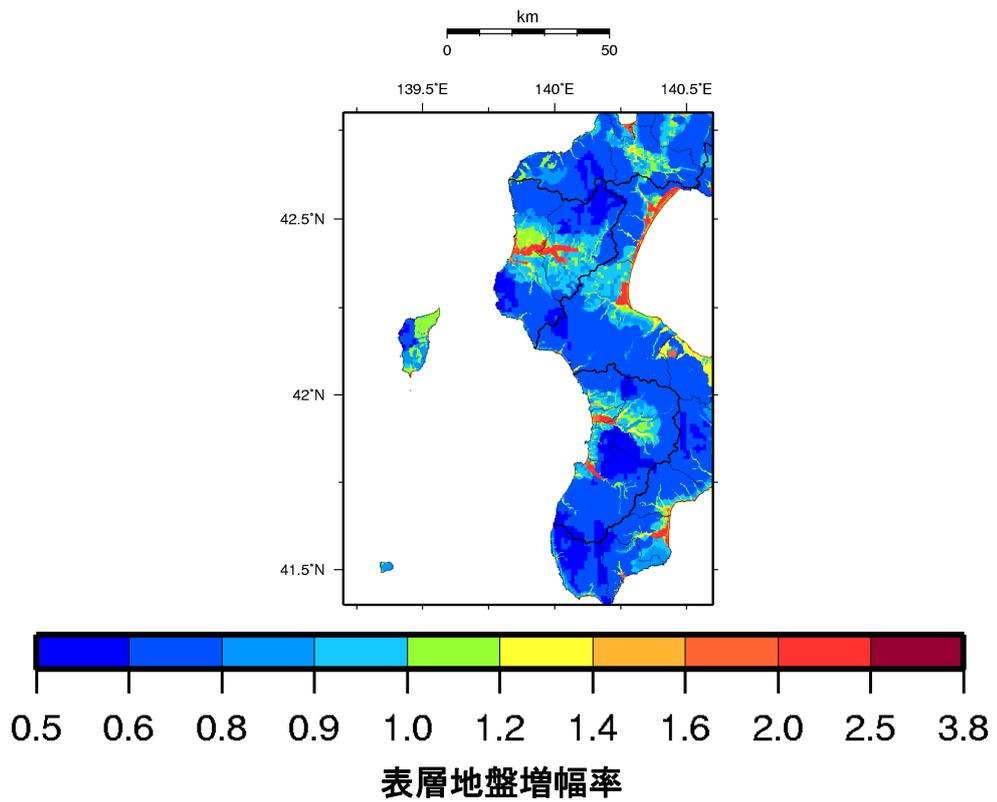


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

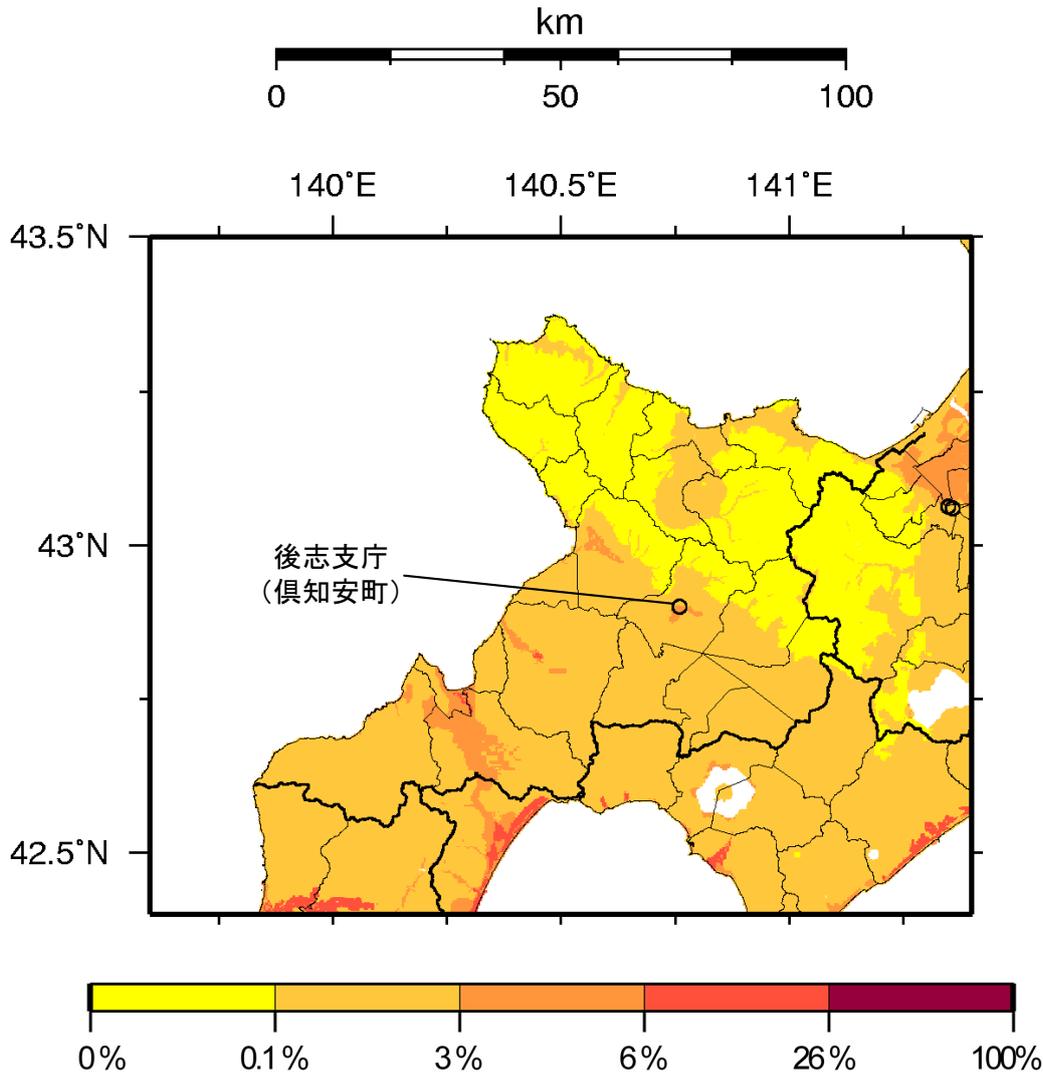
檜山支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



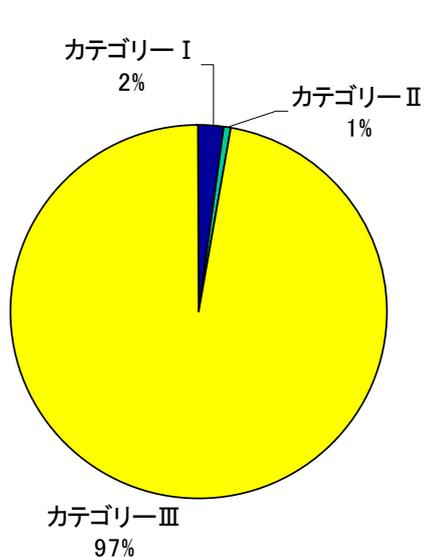
今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度



後志支庁



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）



地図概況

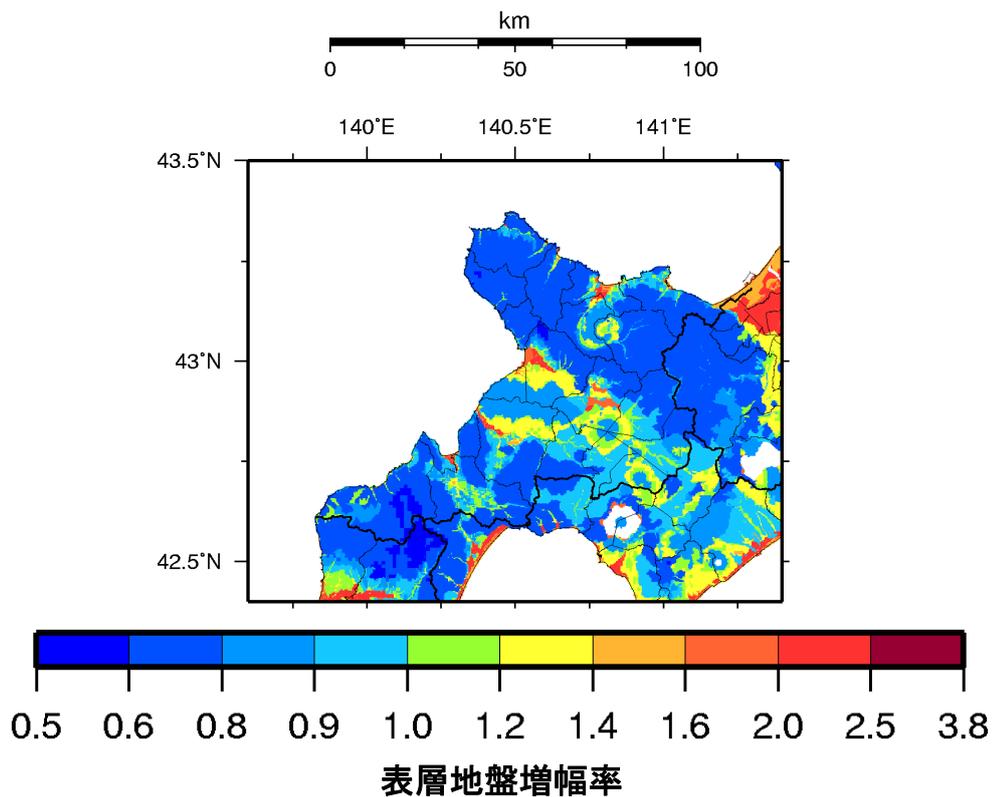
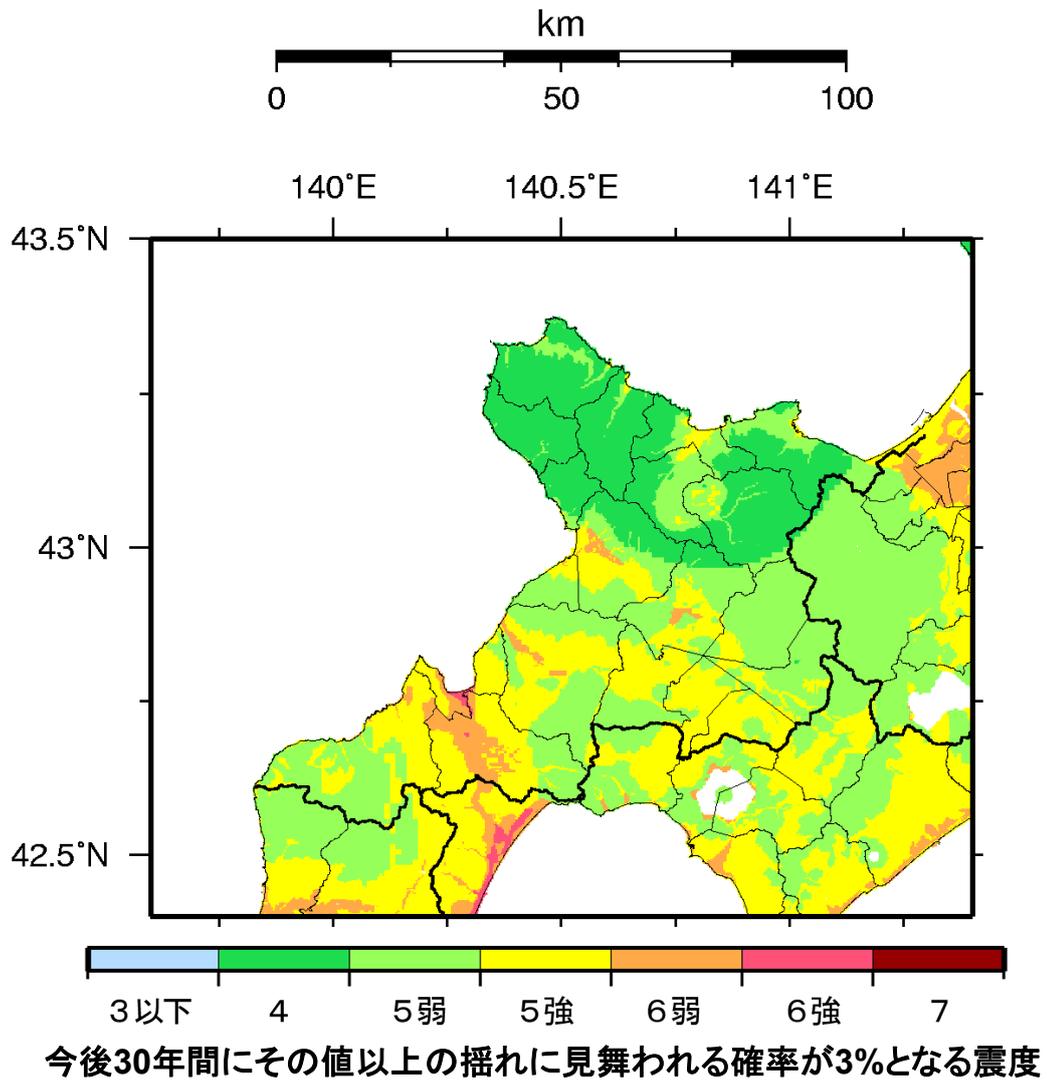
山地に比べると、沿岸の平野部（岩内平野や黒松内低地など）や河川沿い（尻別川沿いなど）では、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。また南西部には、黒松内低地断層帯の地震（カテゴリーⅢ）の影響が見られます。

後志支庁（倶知安町）：高い。

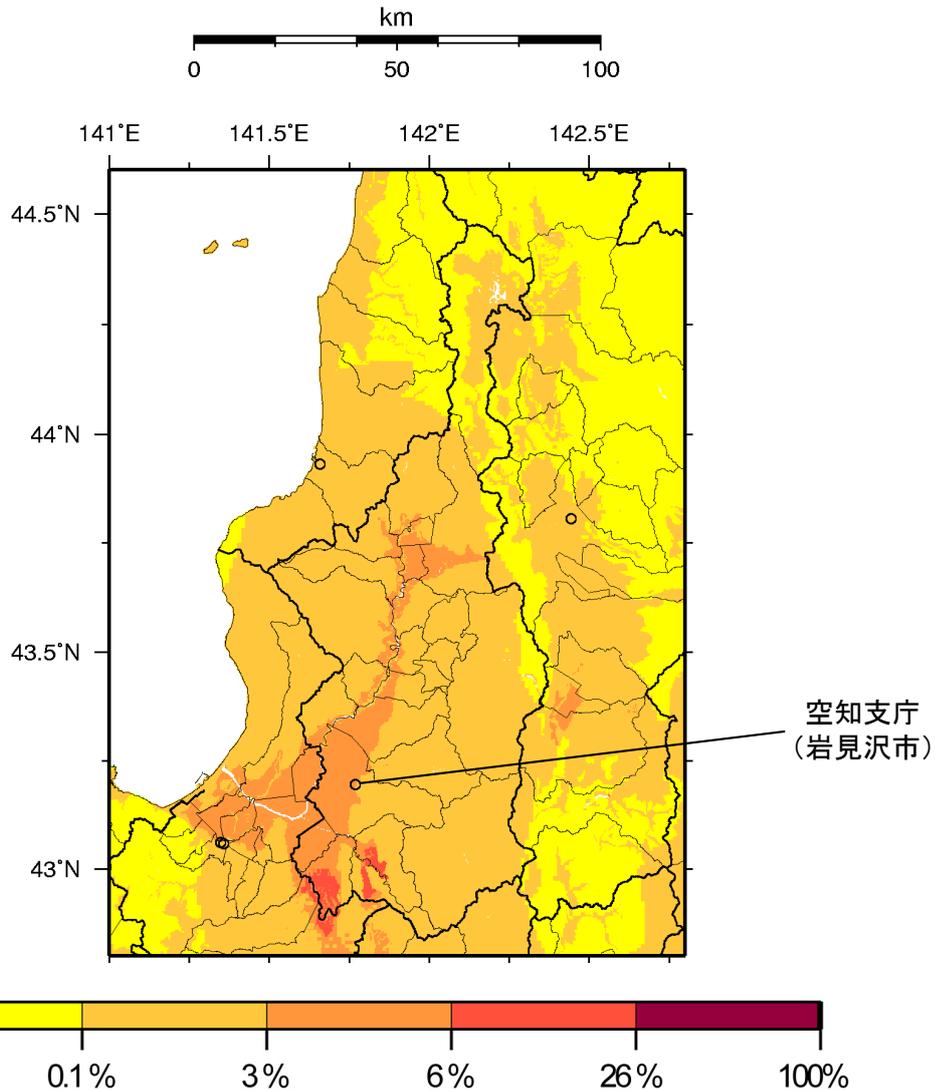
活断層が特定されていない場所で発生する地震（カテゴリーⅢ）の影響度が最も高くなっています。黒松内低地断層帯などの主要活断層帯の地震（カテゴリーⅢ）の影響度も高くなっています。

カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

後志支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



空知支庁



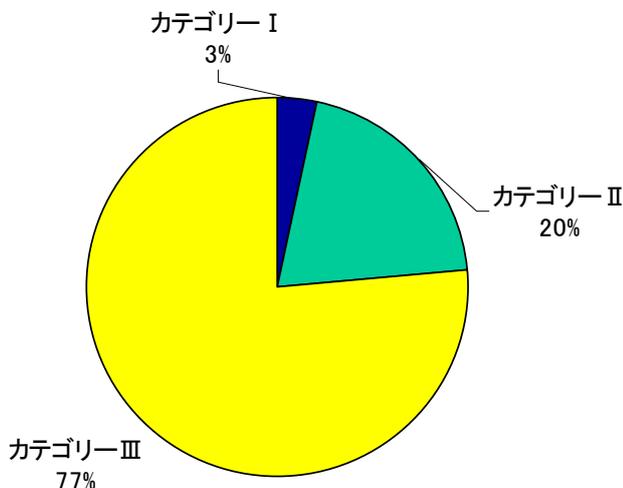
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

周辺部の山地（夕張山地、天塩山地、増毛山地）に比べると、河川沿いの盆地や平野（石狩平野など）では、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

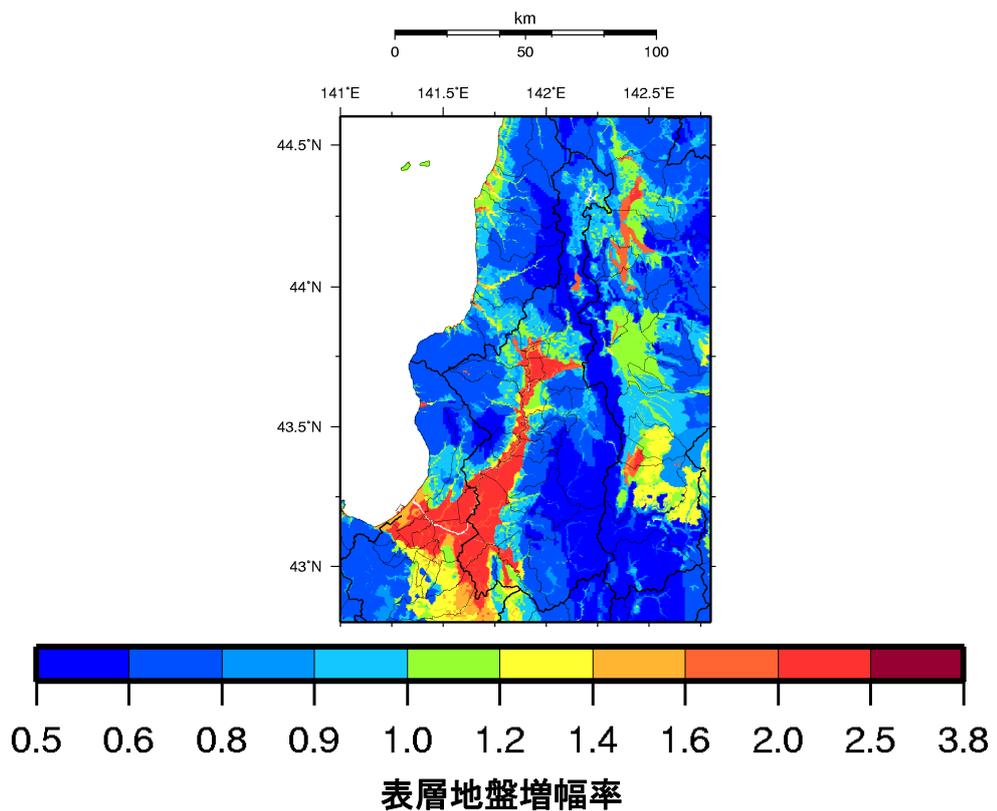
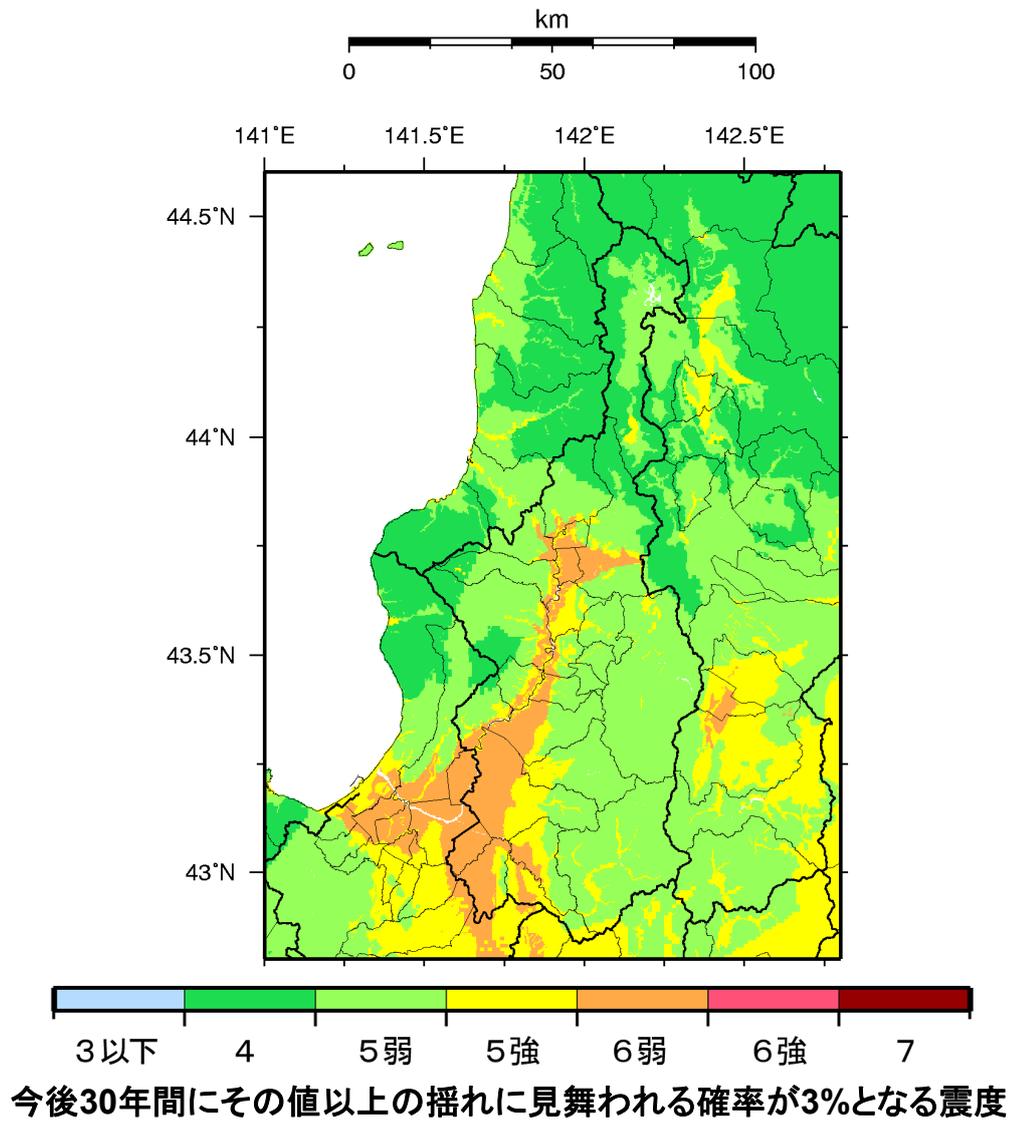
空知支庁(岩見沢市)：高い。

主要活断層帯の地震(カテゴリⅢ)の影響度が最も高くなっています。特に地震発生確率が高い石狩低地東縁断層帯による影響が大きいと考えられます。次いで、活断層が特定されていない場所で発生する地震(カテゴリⅢ)や、千島海溝沿いの沈み込んだ太平洋プレート内のやや深い地震(カテゴリⅡ)の影響が見られます。

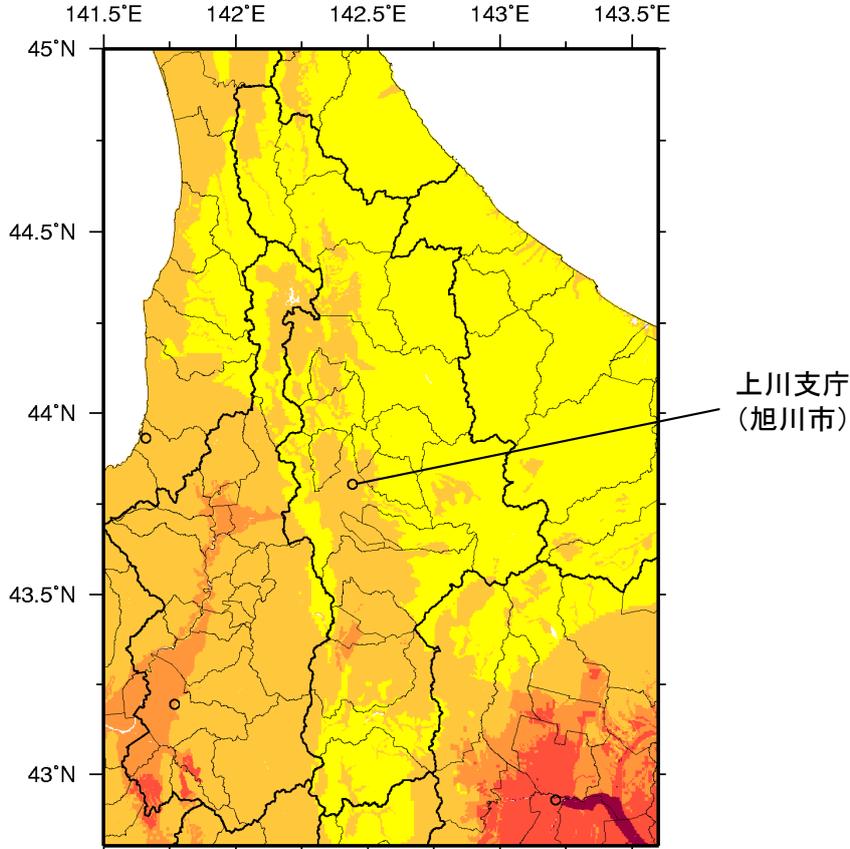
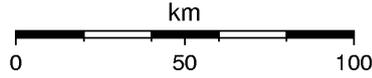


カテゴリⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

空知支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリ別の影響度



上川支庁



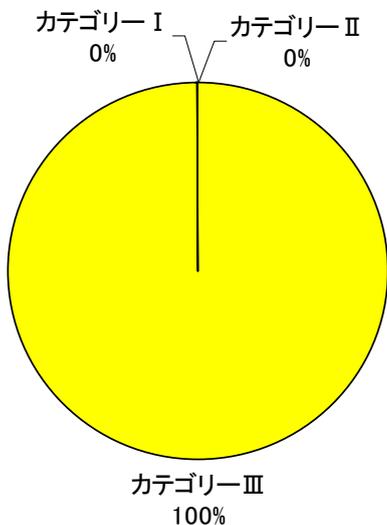
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

周辺部の山地（北見山地、石狩山地、夕張山地、天塩山地など）に比べると、山間の盆地（名寄盆地、上川盆地、富良野盆地）や河川沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

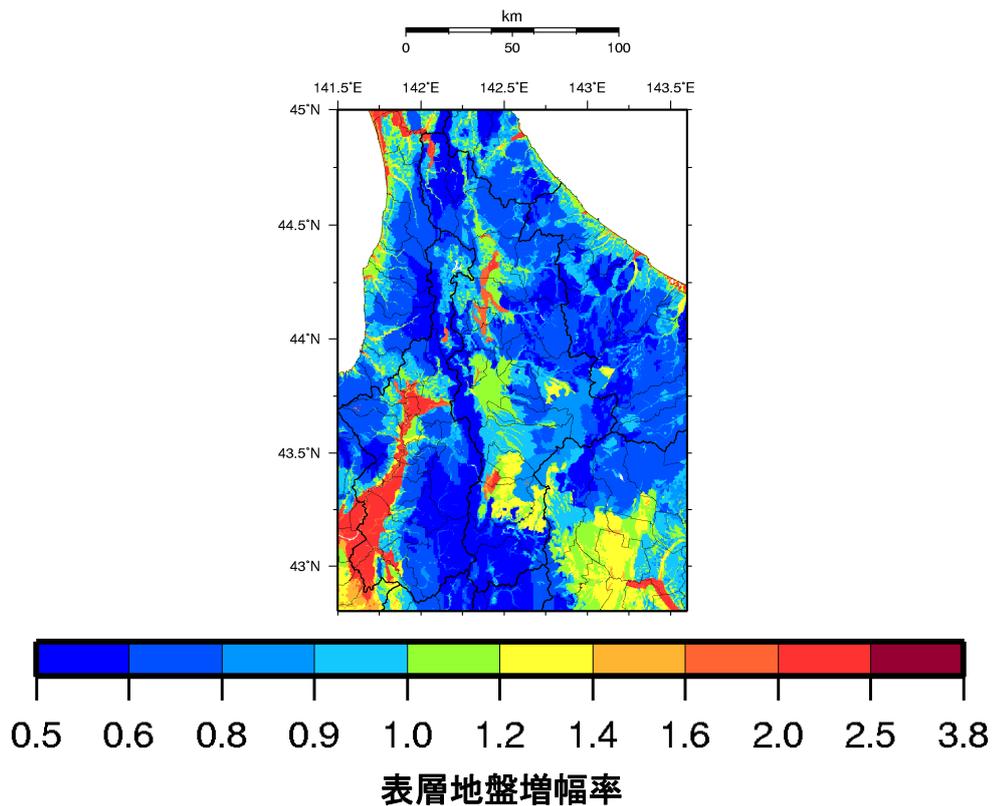
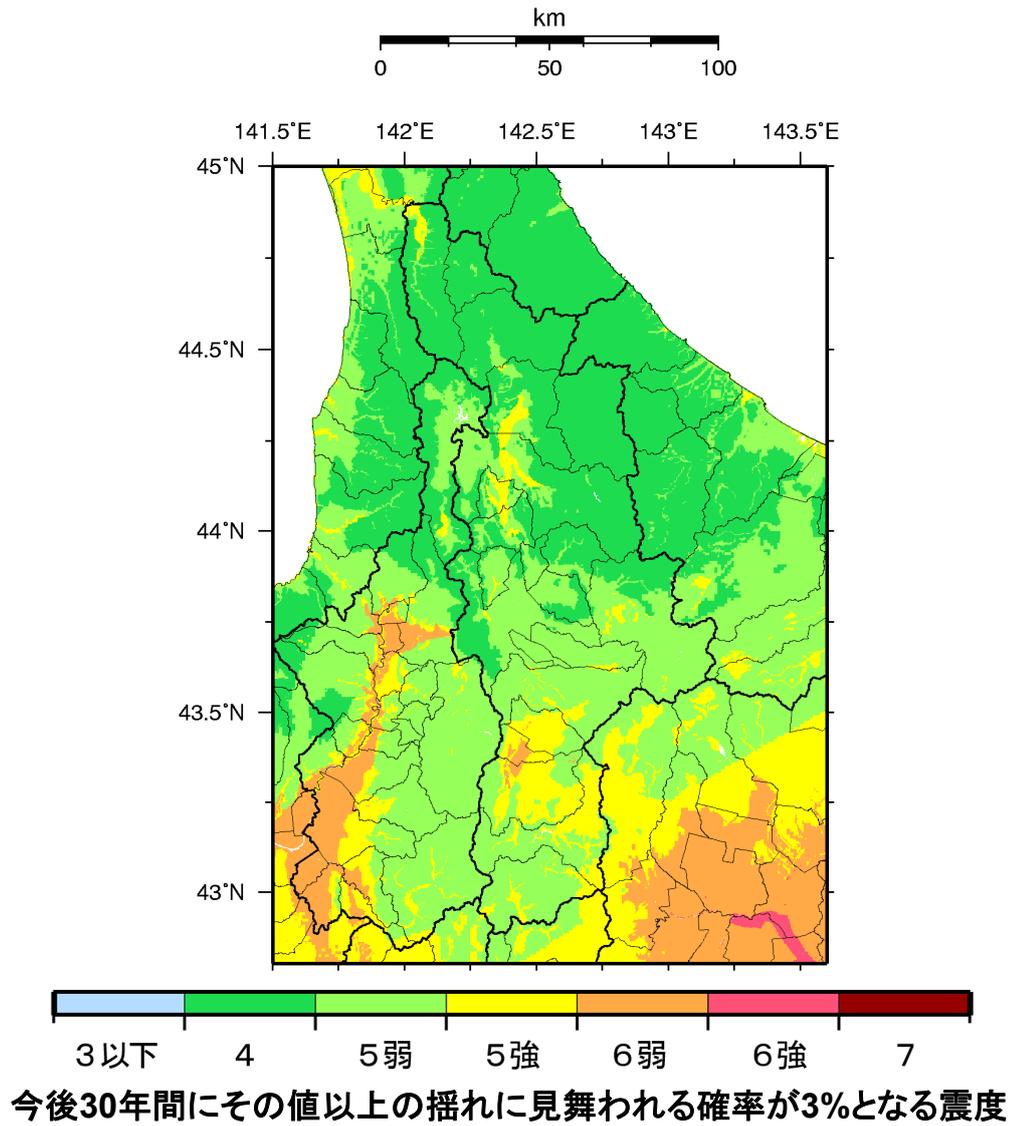
上川支庁（旭川市）：やや高い。

主要活断層帯の地震（カテゴリⅢ）の影響度が最も高くなっています。主に、増毛山地東縁断層帯・沼田－砂川付近の断層帯によるものと考えられます。活断層が特定されていない場所で発生する地震（カテゴリⅢ）の影響度も高くなっています。

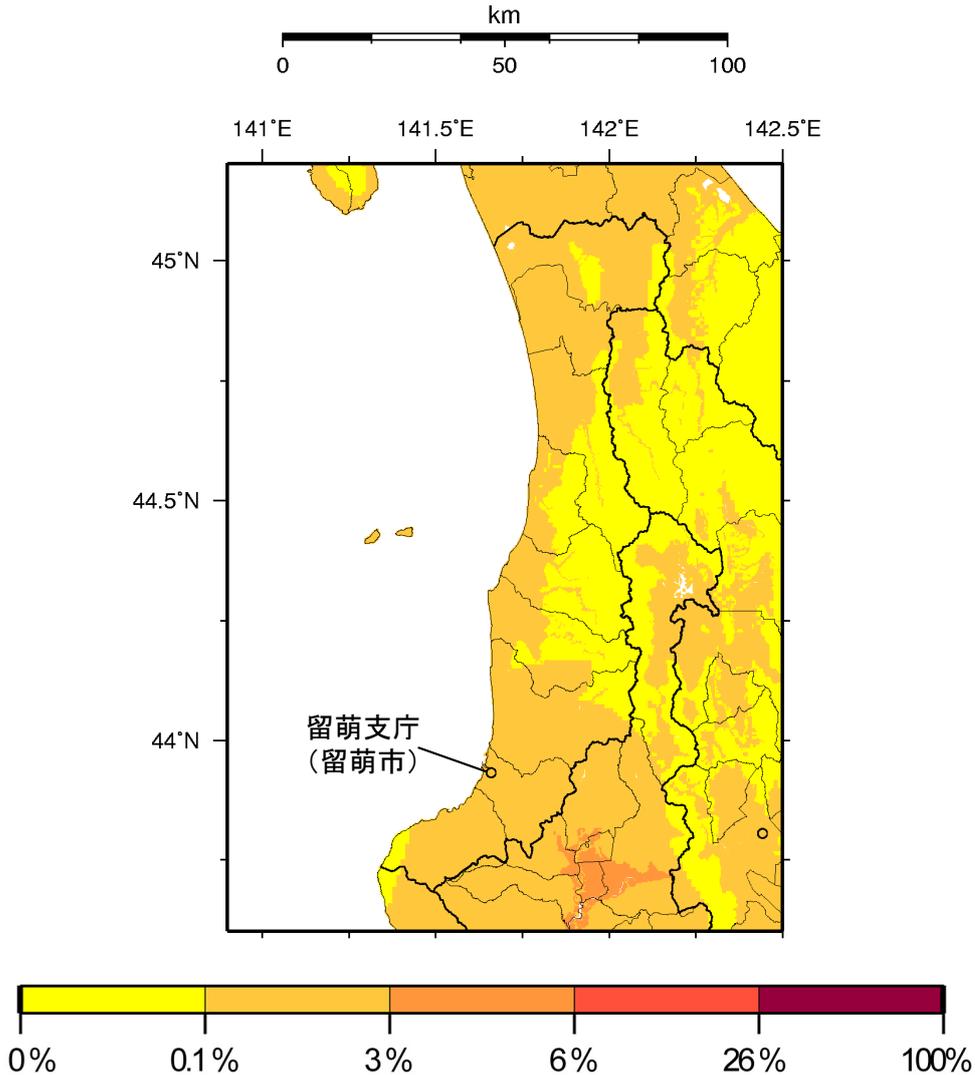


カテゴリⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

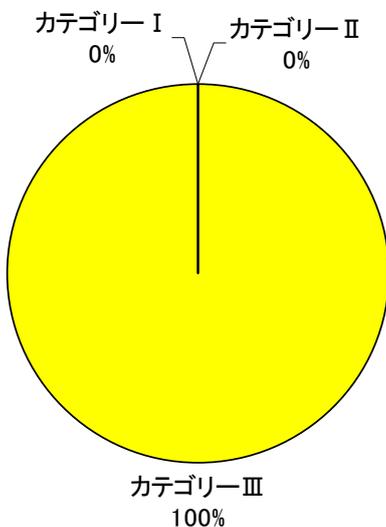
上川支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリ別の影響度



留萌支庁



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）



地図概況

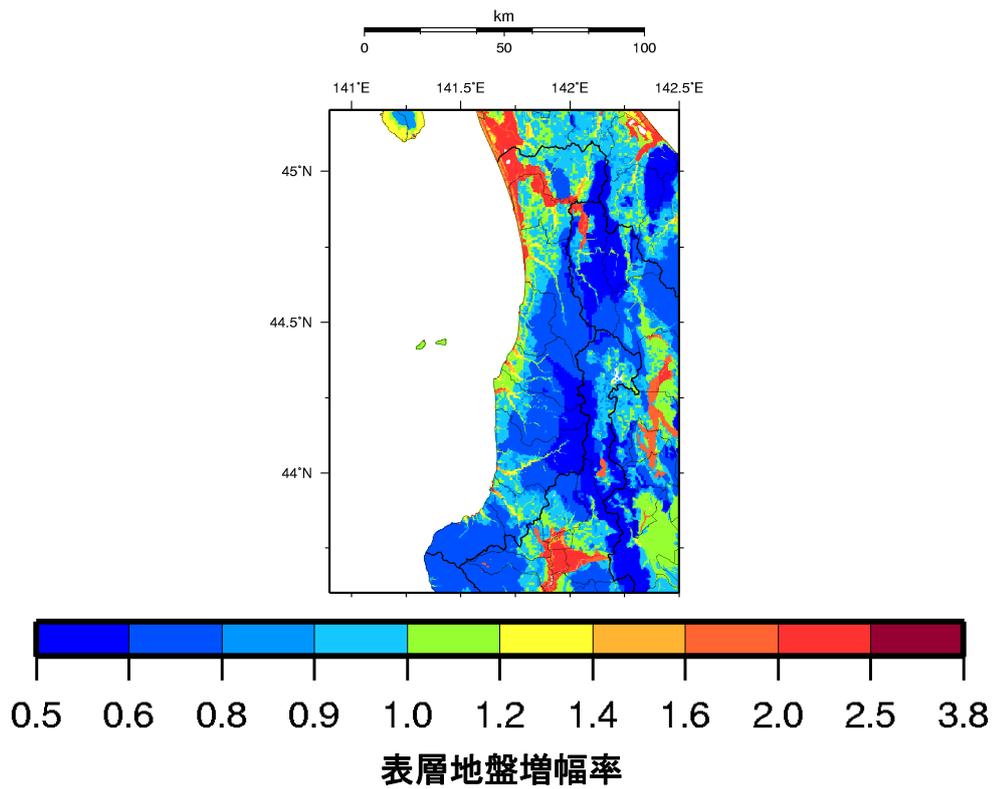
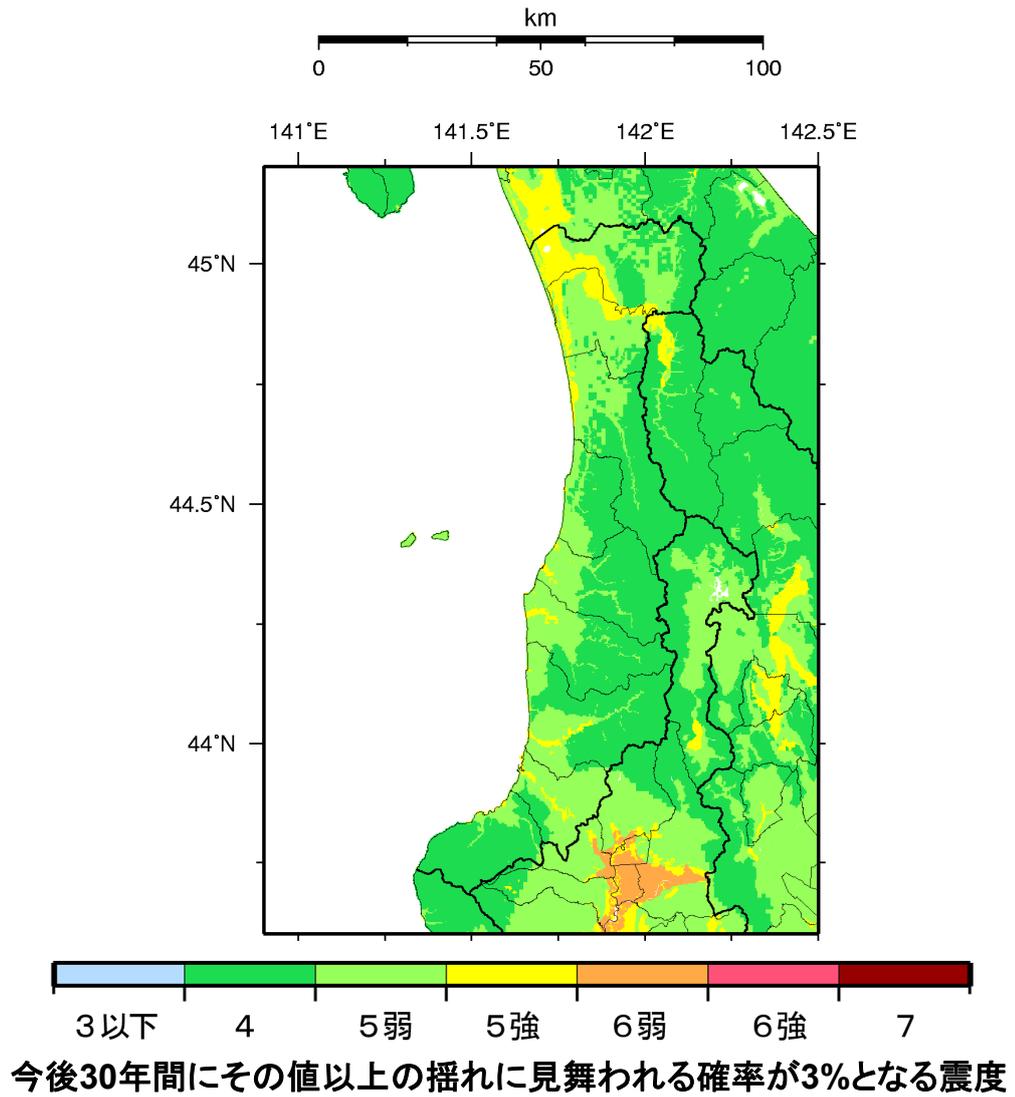
山地(天塩山地、増毛山地)に比べると、河川沿いや沿岸の平野部(特に天塩川流域から天塩平野にかけて)では、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

留萌支庁(留萌市)：やや高い。

主要活断層帯の地震(カテゴリーⅢ)の影響度が最も高くなっています。主に、増毛山地東縁断層帯によるものと考えられます。活断層が特定されていない場所で発生する地震(カテゴリーⅢ)の影響度も高くなっています。

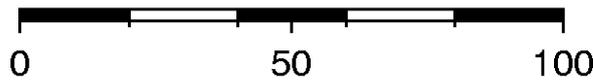
カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

留萌支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度

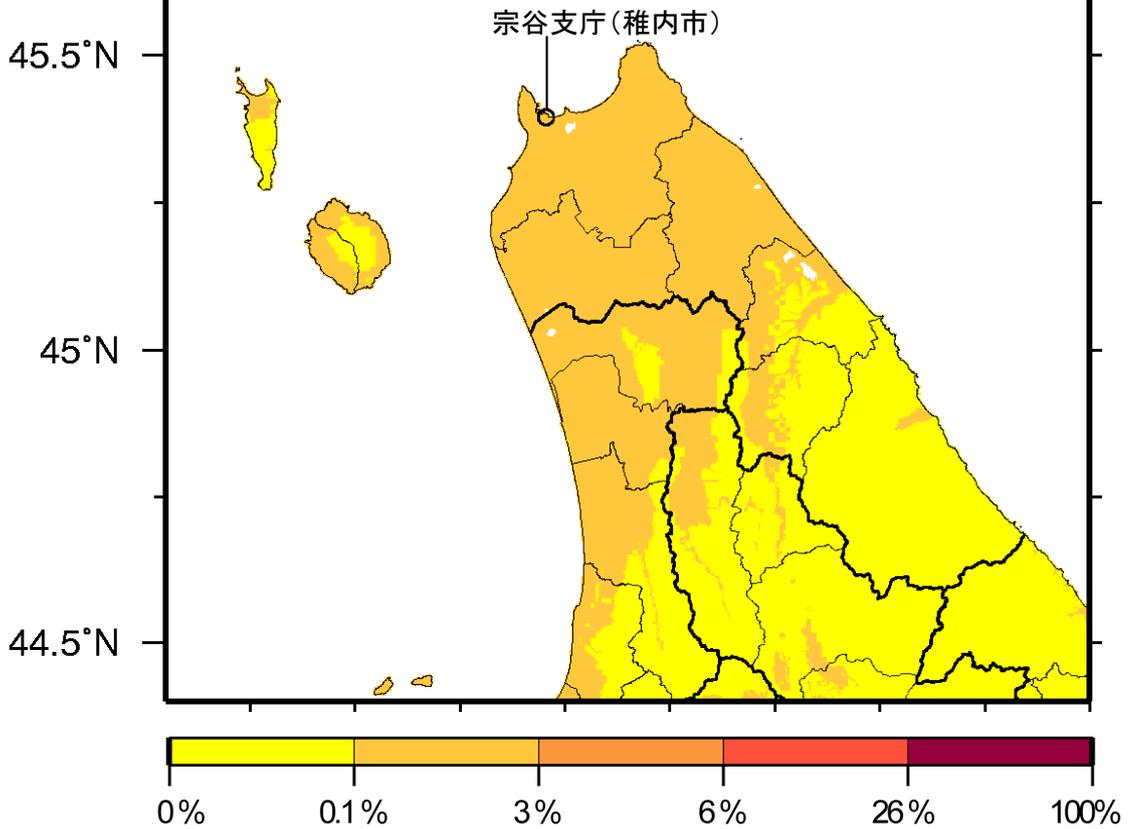


宗谷支庁

km



141°E 141.5°E 142°E 142.5°E 143°E



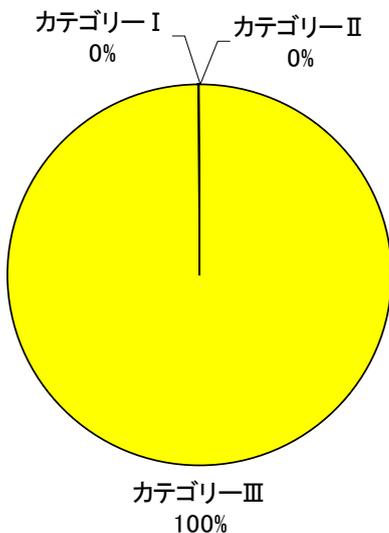
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

山地に比べると、河川・湖沼沿いや沿岸の平野部(天塩平野、幕別平野、頓別平野など)では、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなる傾向にあります。また北部には、主要活断層帯以外の活断層に発生する地震(カテゴリーⅢ)の影響が見られます。

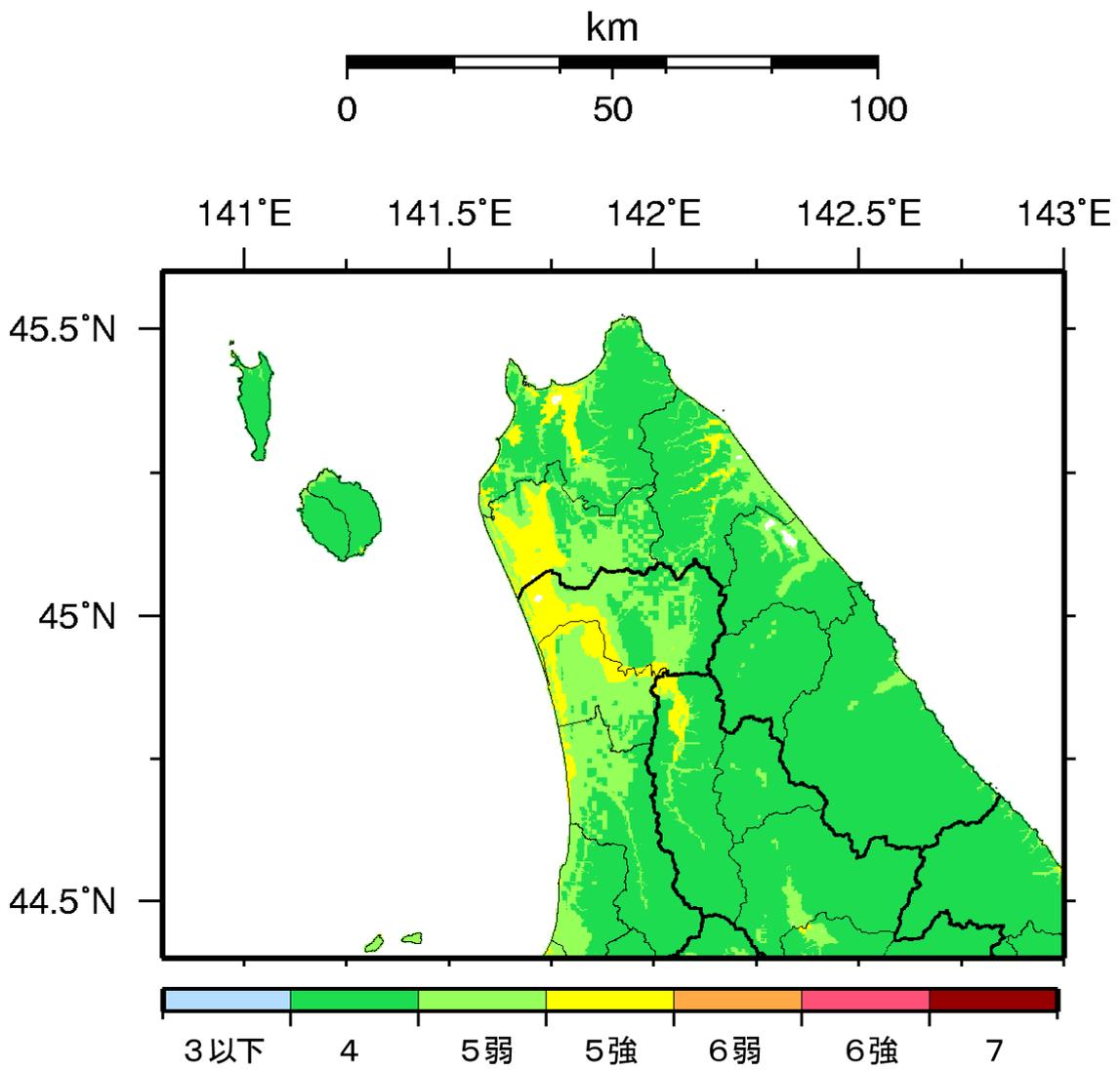
宗谷支庁(稚内市)：やや高い。

主要活断層帯以外の活断層に発生する地震(カテゴリーⅢ)の影響度が最も高くなっています。活断層が特定されていない場所で発生する地震(カテゴリーⅢ)の影響度も高くなっています。

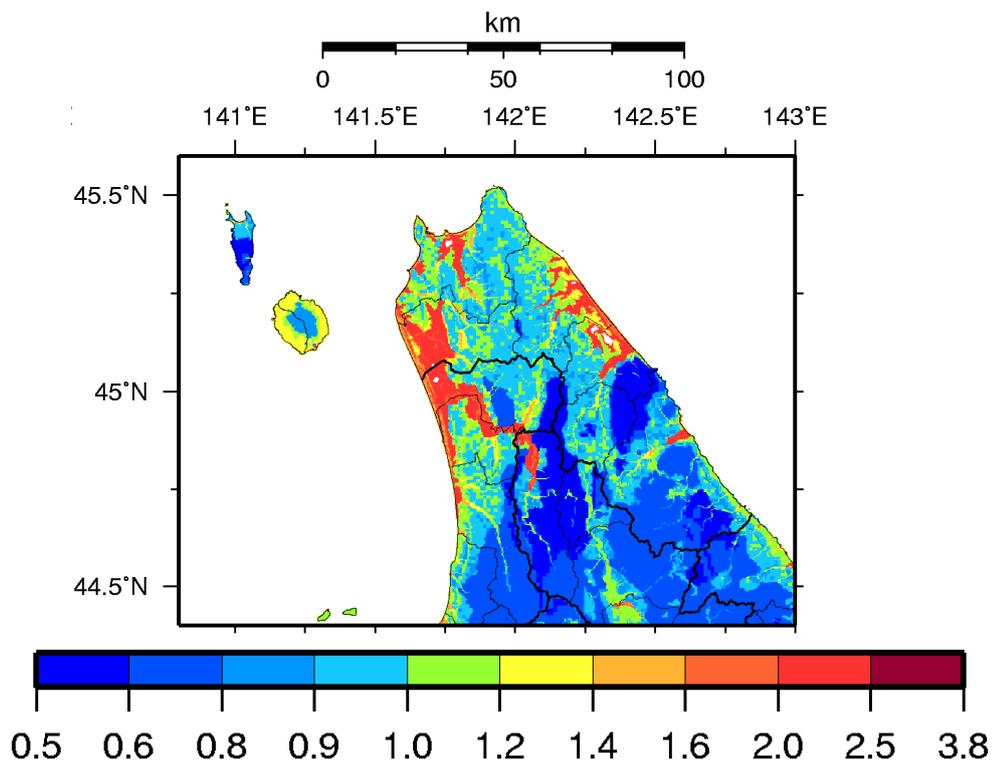


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

宗谷支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度

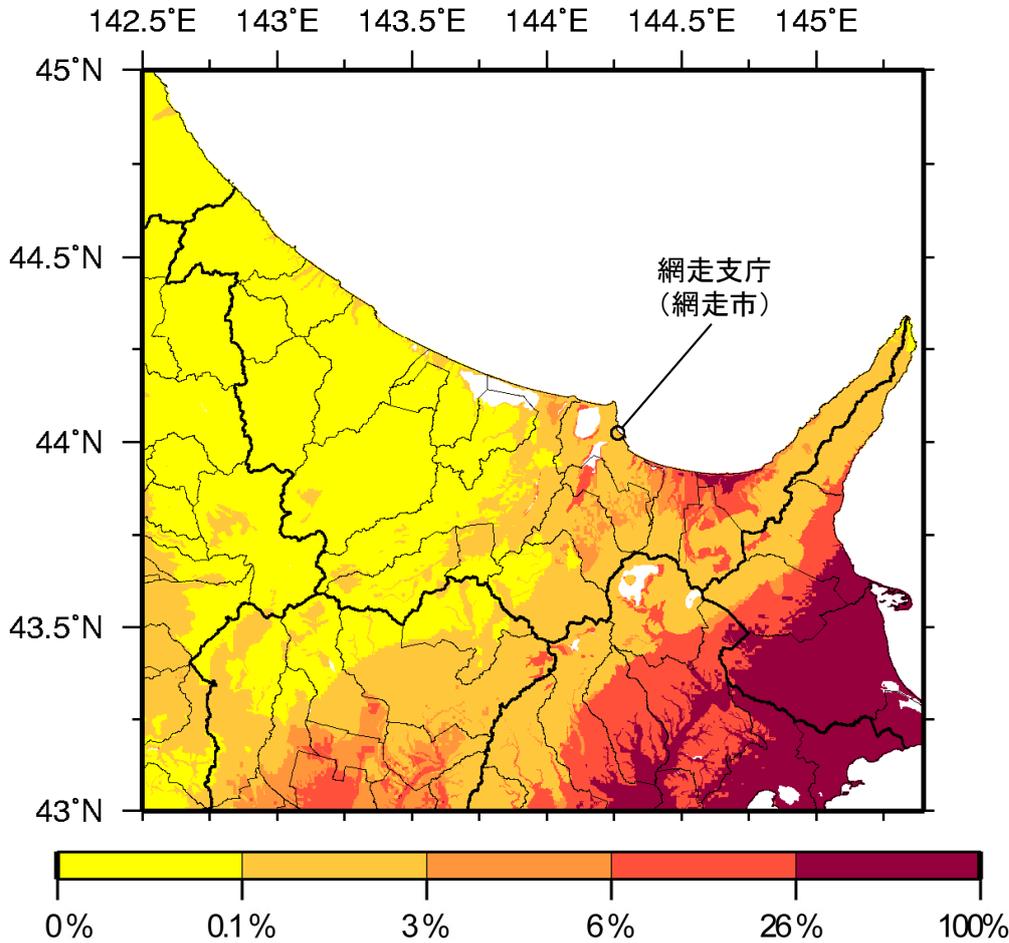
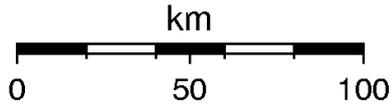


今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度



表層地盤増幅率

網走支庁



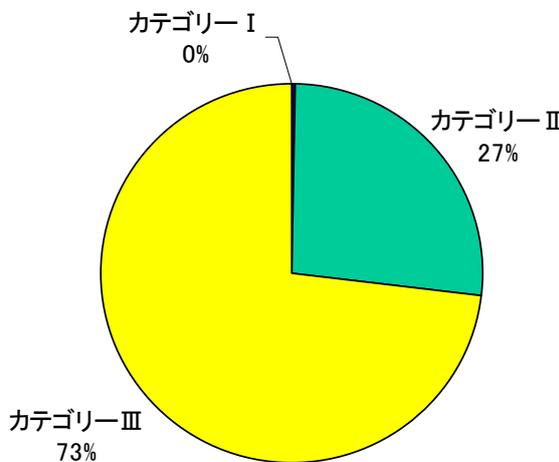
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

山地（北見山地、石狩山地など）に比べると、河川・湖沼沿いの沿岸の平野部（斜里平野など）や盆地（北見盆地）では、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなる傾向にあります。特に東部では、千島海溝沿いの沈み込んだ太平洋プレート内の地震（カテゴリーⅡ）の影響が大きくなっています。

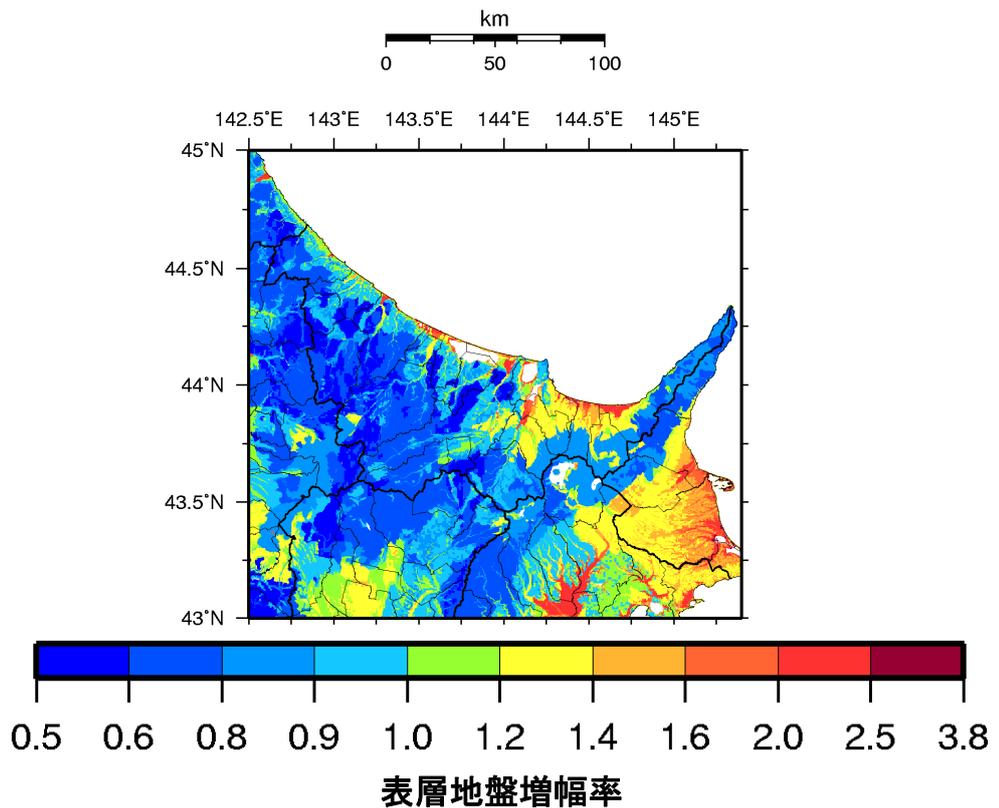
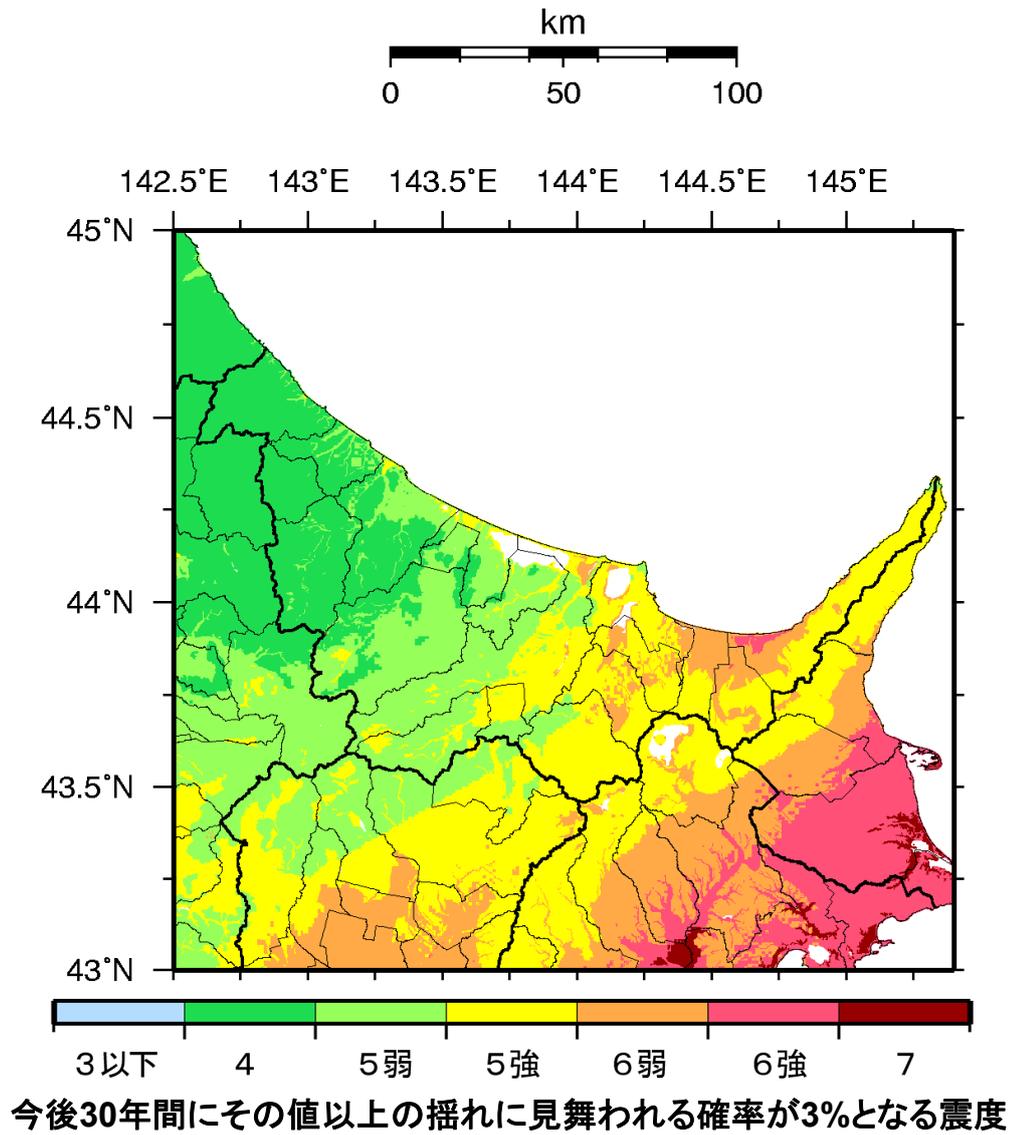
網走支庁（網走市）：やや高い。

主要活断層帯以外の活断層で発生する地震（カテゴリーⅢ）の影響度が最も高くなっています。また、千島海溝沿いの沈み込んだ太平洋プレート内のやや深い地震・やや浅い地震（ともにカテゴリーⅡ）の影響も見られます。

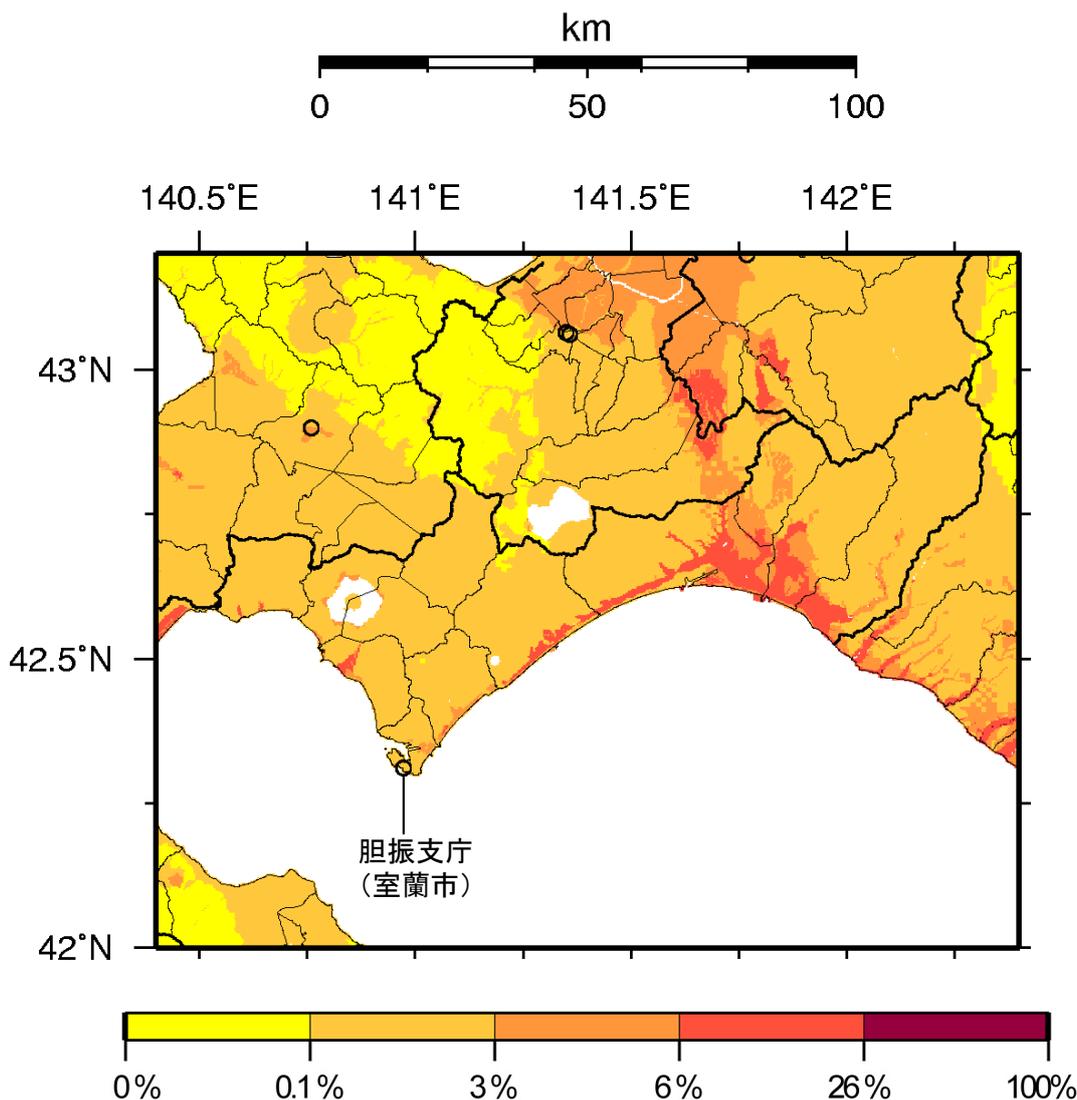


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

網走支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



胆振支庁



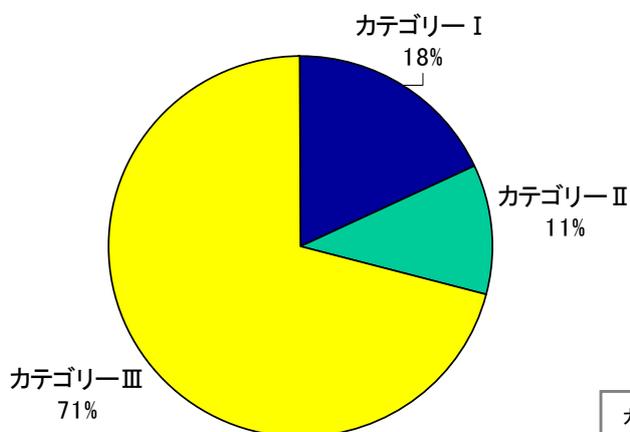
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

山地に比べると、沿岸の平野部（勇払平野など）や河川沿い、一部の湖沼沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。また東側ほど、千島海溝沿いの沈み込んだ太平洋プレート内の地震（カテゴリーⅡ）や石狩低地東縁断層帯の地震（カテゴリーⅢ）の影響が大きくなります。

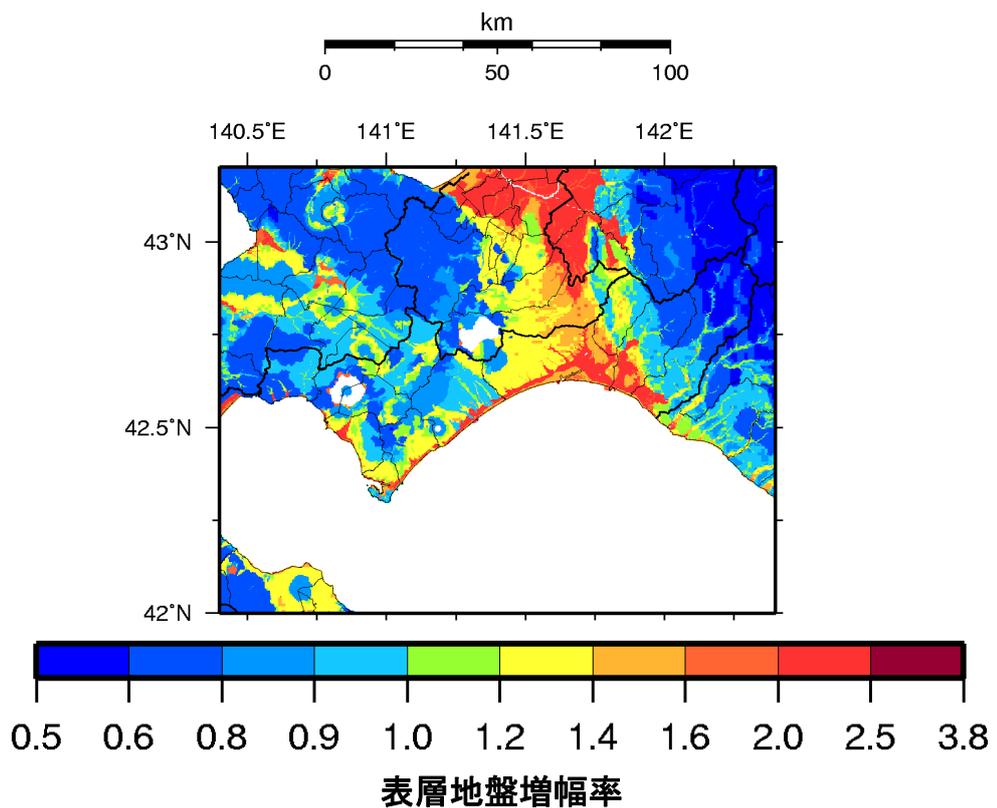
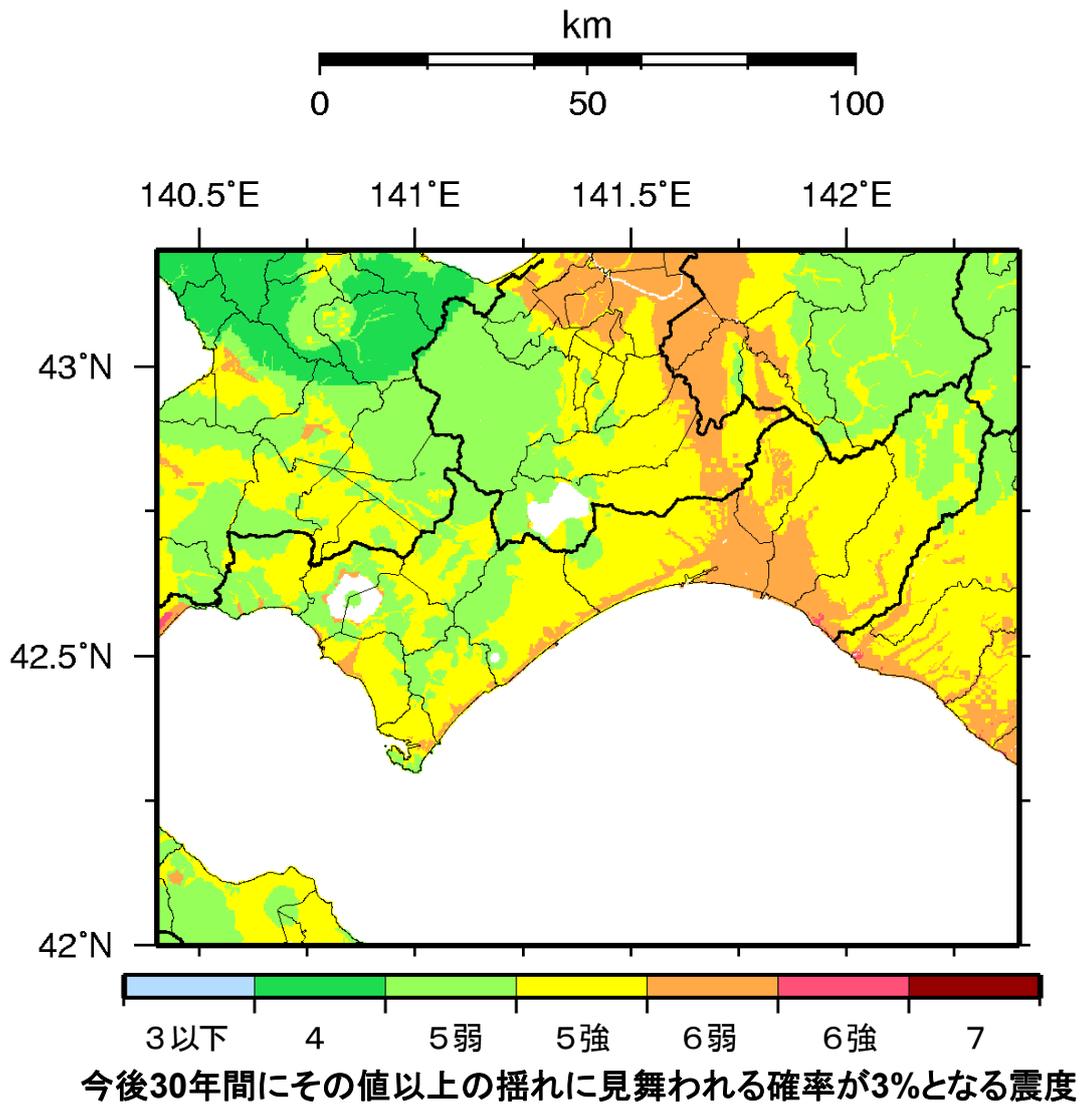
胆振支庁（室蘭市）：やや高い。

活断層が特定されていない場所で発生する地震（カテゴリーⅢ）の影響度が最も高くなっています。三陸沖北部の地震（カテゴリーⅠ）の影響も見られます。

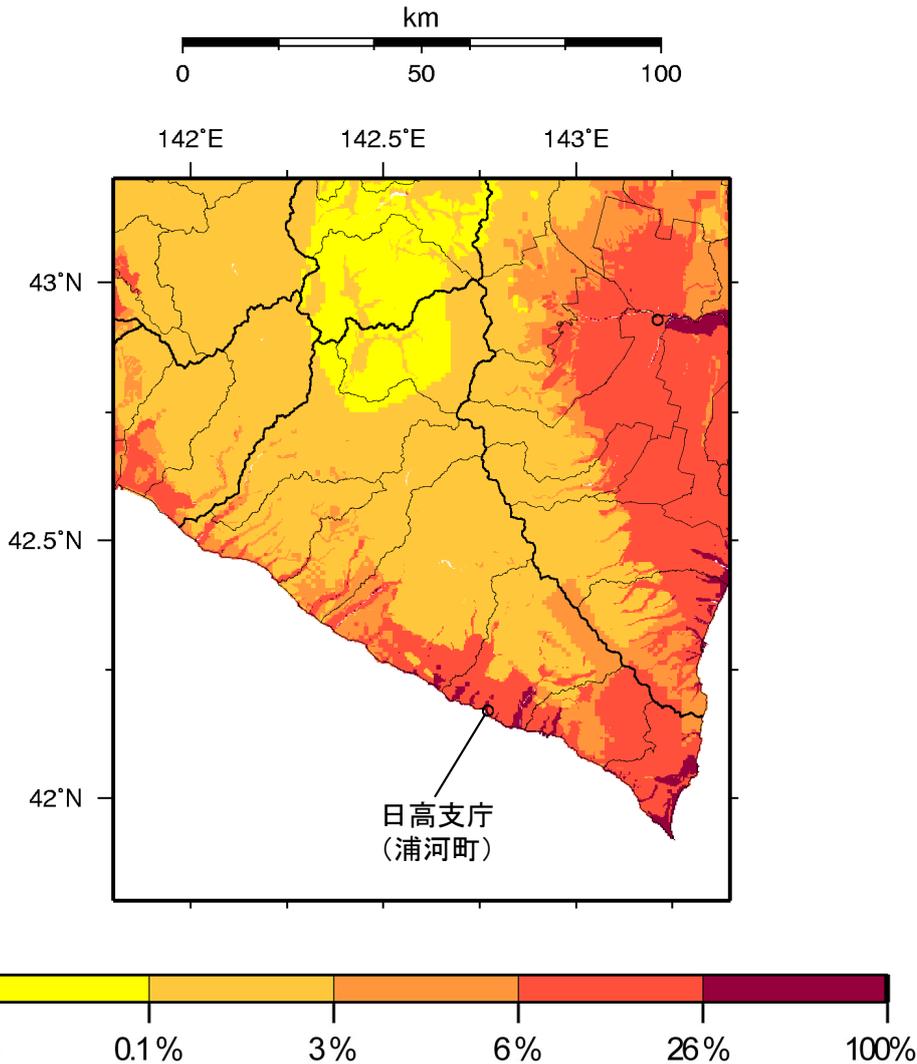


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

胆振支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



日高支庁



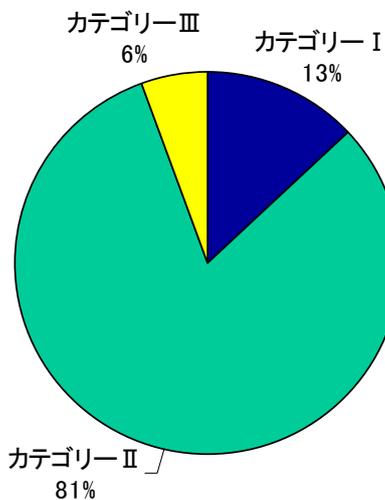
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

日高山脈に比べると、沿岸部の一部や河川沿いでは、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなる傾向にあります。また南部では、千島海溝沿いの沈み込んだ太平洋プレート内で発生する地震(カテゴリーII)や太平洋プレートのプレート間およびプレート内の震源を予め特定しにくい地震(カテゴリーII)の影響が大きくなります。

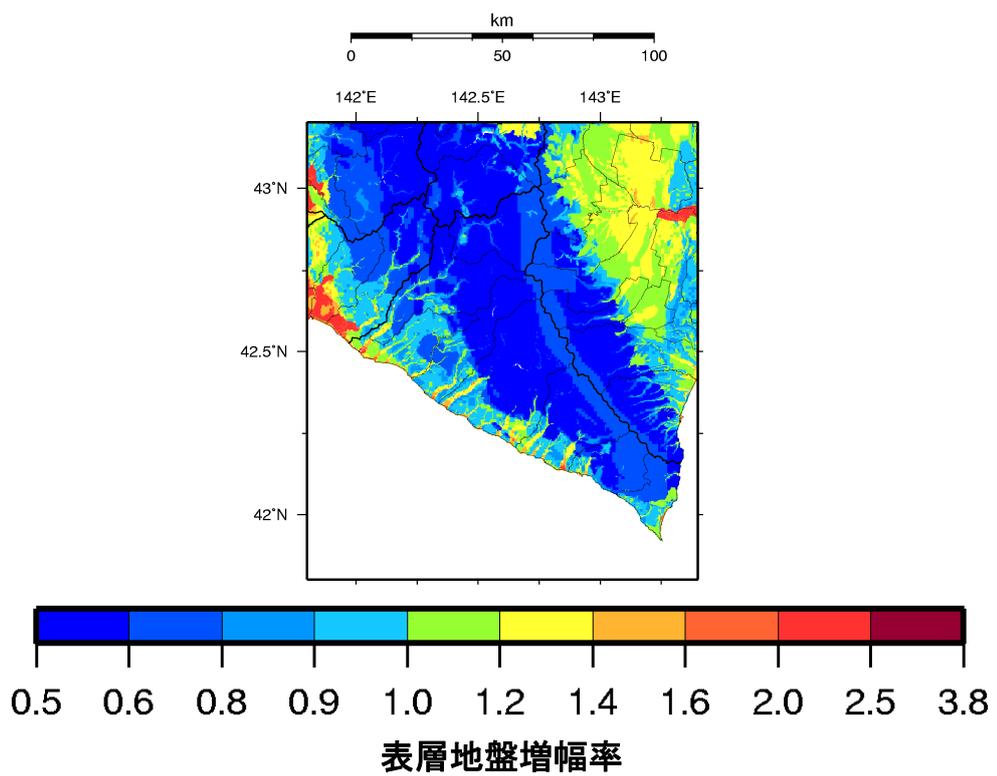
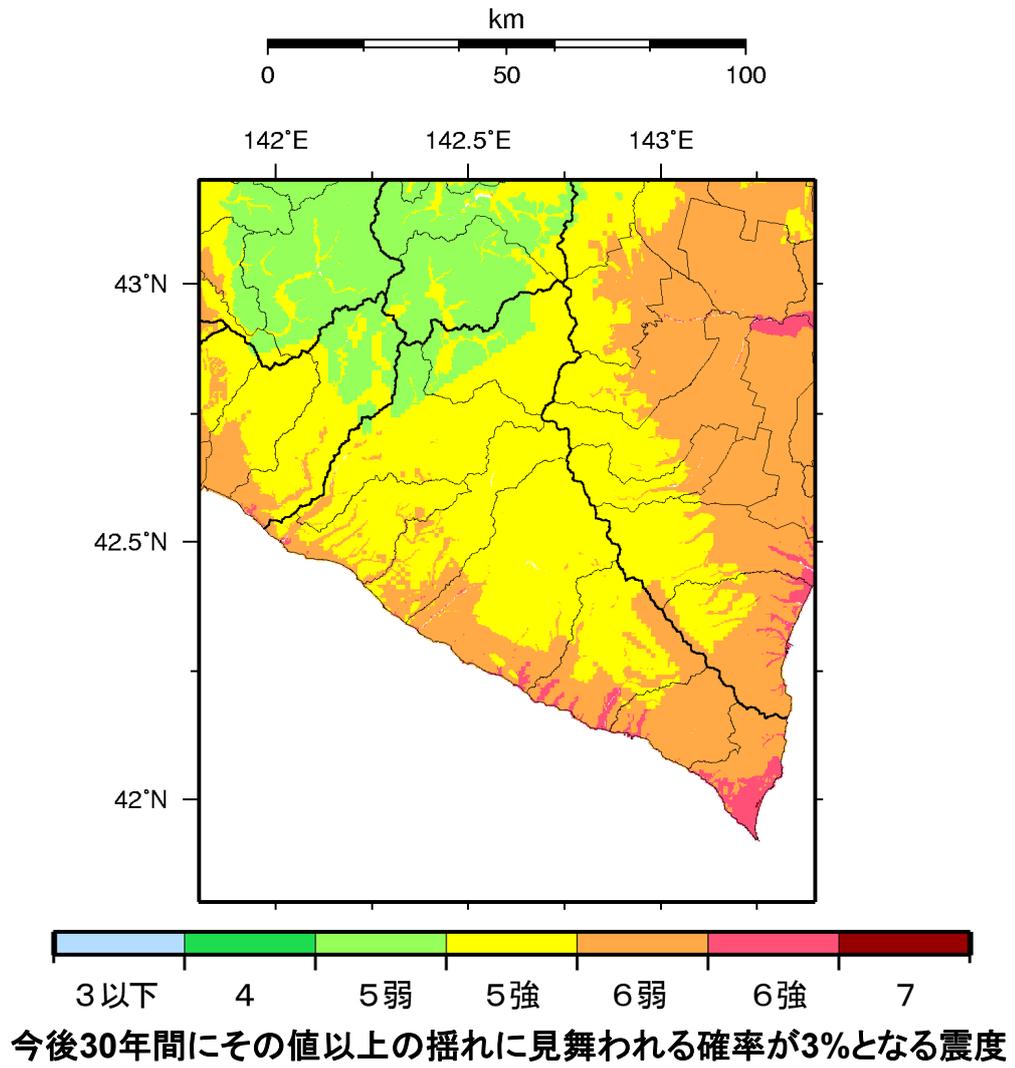
日高支庁(浦河町)：高い。

千島海溝沿いの沈み込んだ太平洋プレート内のやや深い地震・やや浅い地震(ともにカテゴリーII)の影響度が高くなっています。太平洋プレートのプレート間およびプレート内の震源を予め特定しにくい地震(カテゴリーII)や、三陸沖北部の地震(カテゴリーI)の影響も見られます。

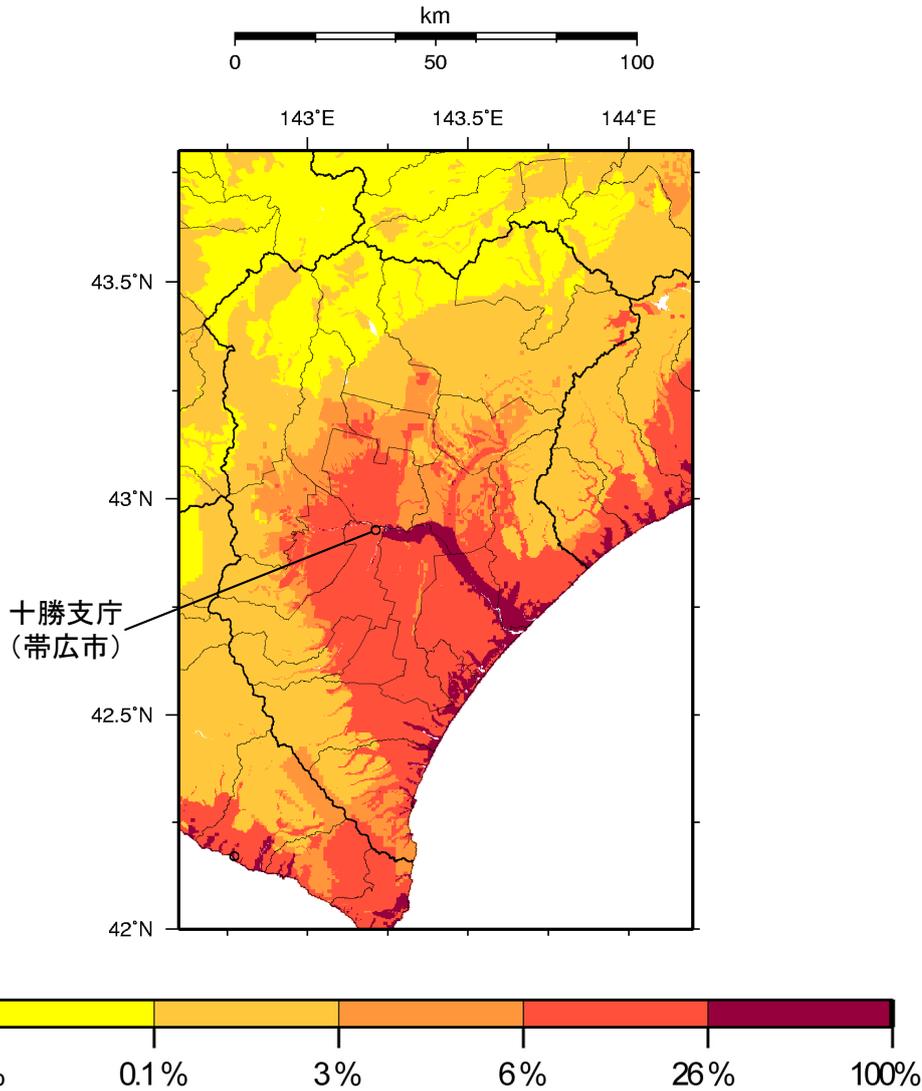


カテゴリーI：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーII：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーIII：活断層など陸域と海域の浅い地震

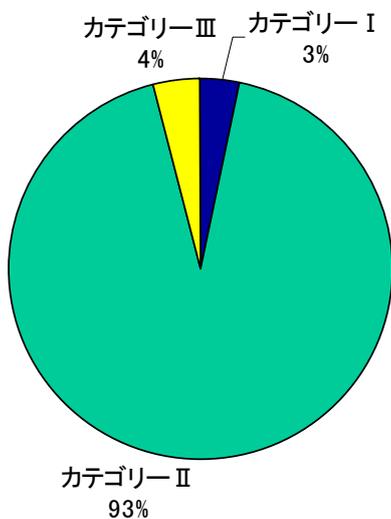
日高支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



十勝支庁



今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）



地図概況

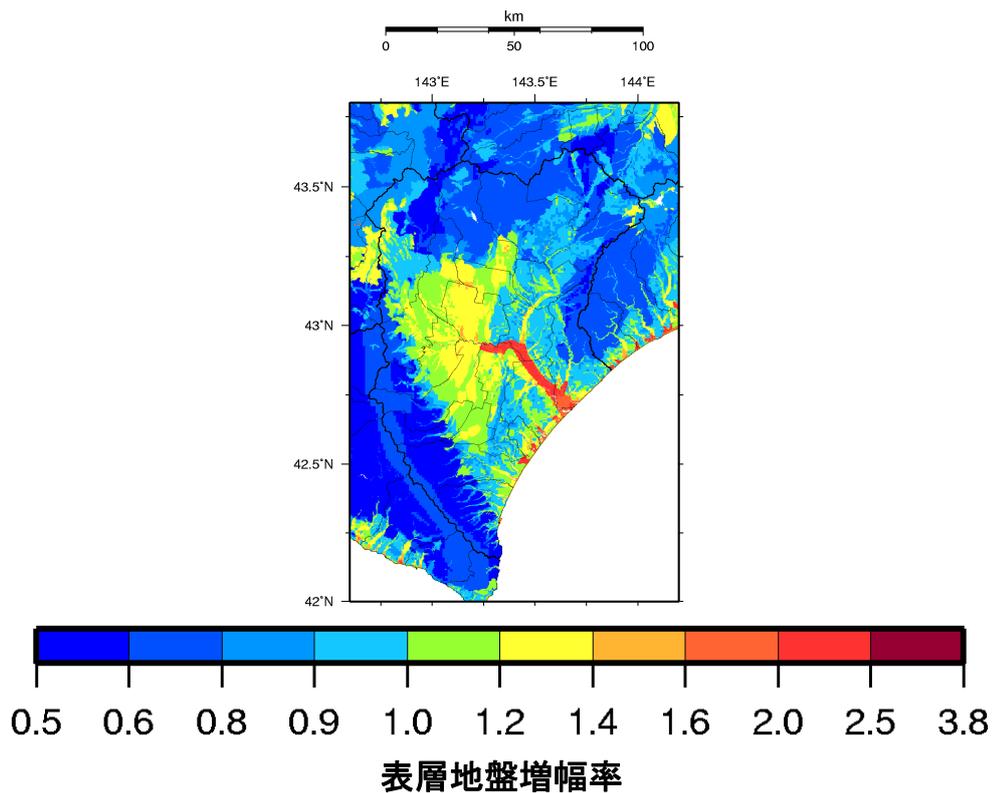
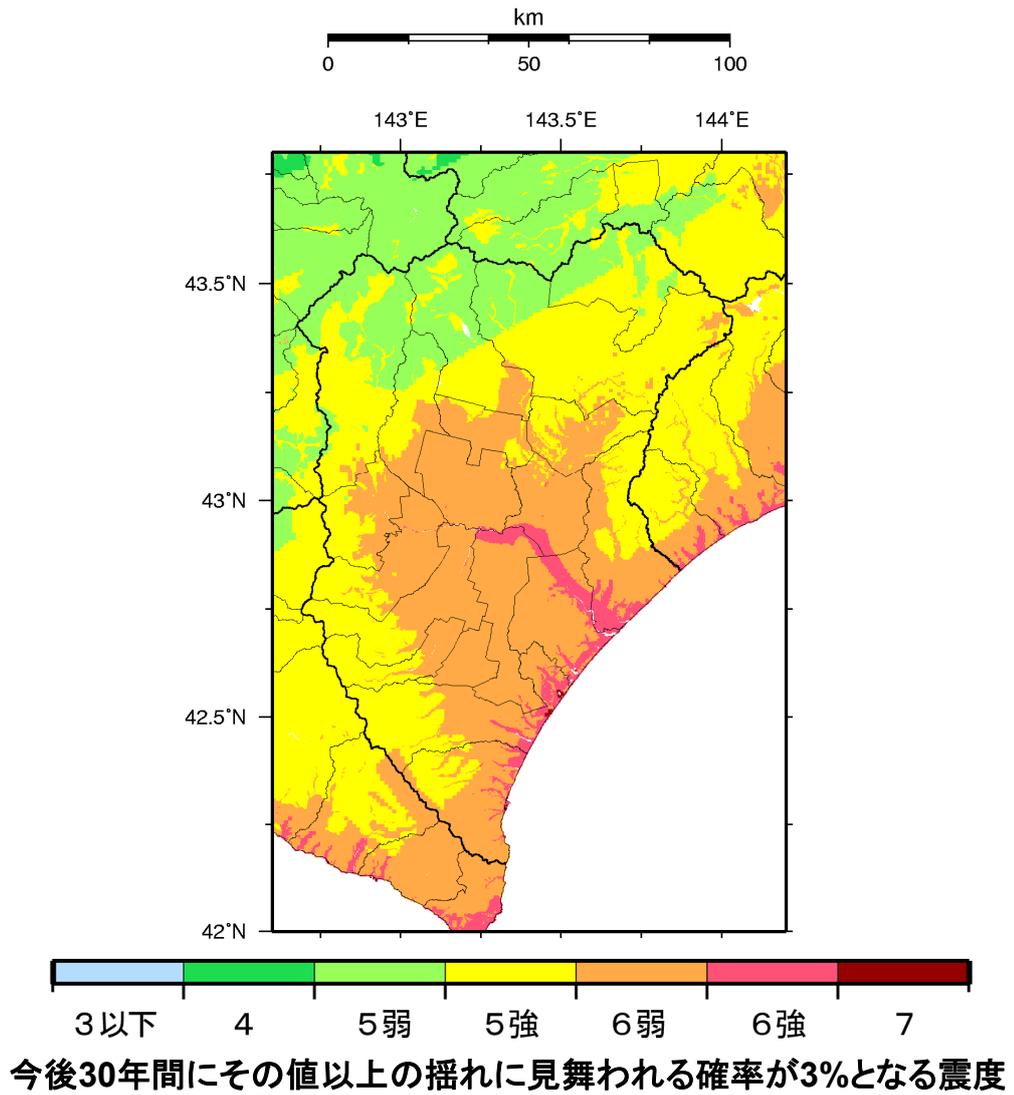
周辺部の山地（日高山脈、石狩山地など）や丘陵（白糠丘陵）に比べると、十勝平野、その中でも特に河川沿いや沿岸部では、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

十勝支庁（帯広市）：高い。

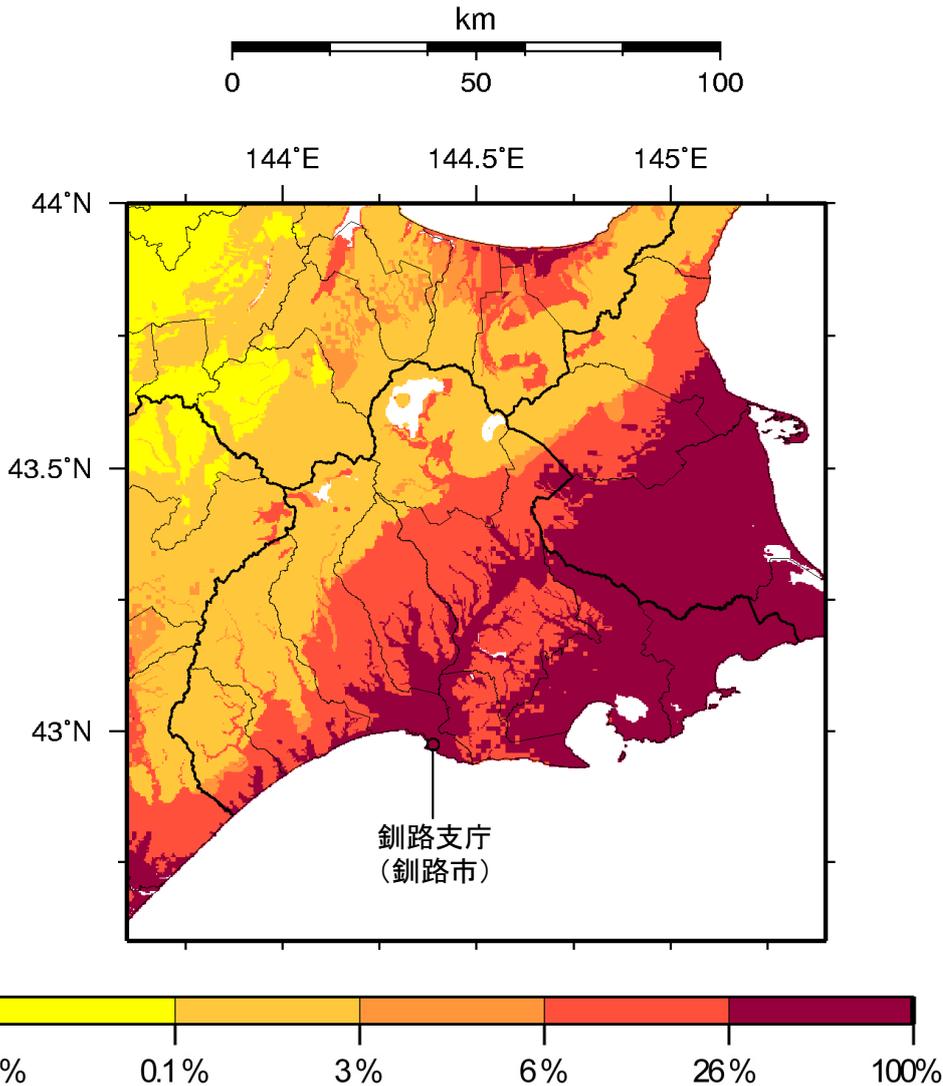
千島海溝沿いの沈み込んだ太平洋プレート内のやや深い地震（カテゴリーⅡ）の影響度が最も高くなっています。次いで、同プレート内のやや浅い地震（カテゴリーⅡ）の影響度が高くなっています。

カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

十勝支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度



釧路支庁



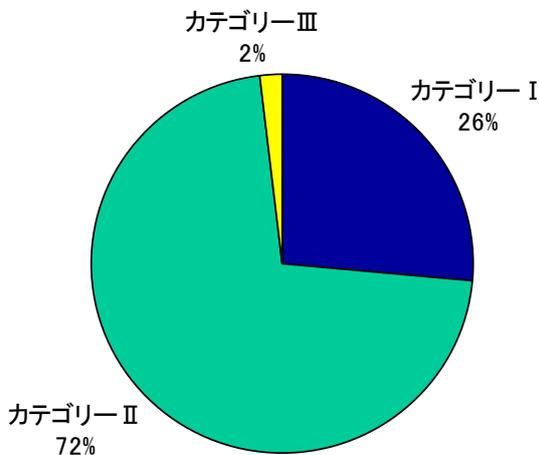
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率（30年超過確率）

地図概況

南東側ほど、海溝型地震(カテゴリーⅠ、Ⅱ)の影響が大きくなります。また北西部の山地や丘陵(白糠丘陵)に比べると、南東部の釧路平野や根釧台地、その中でも特に河川沿いや低湿地、沿岸部では、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

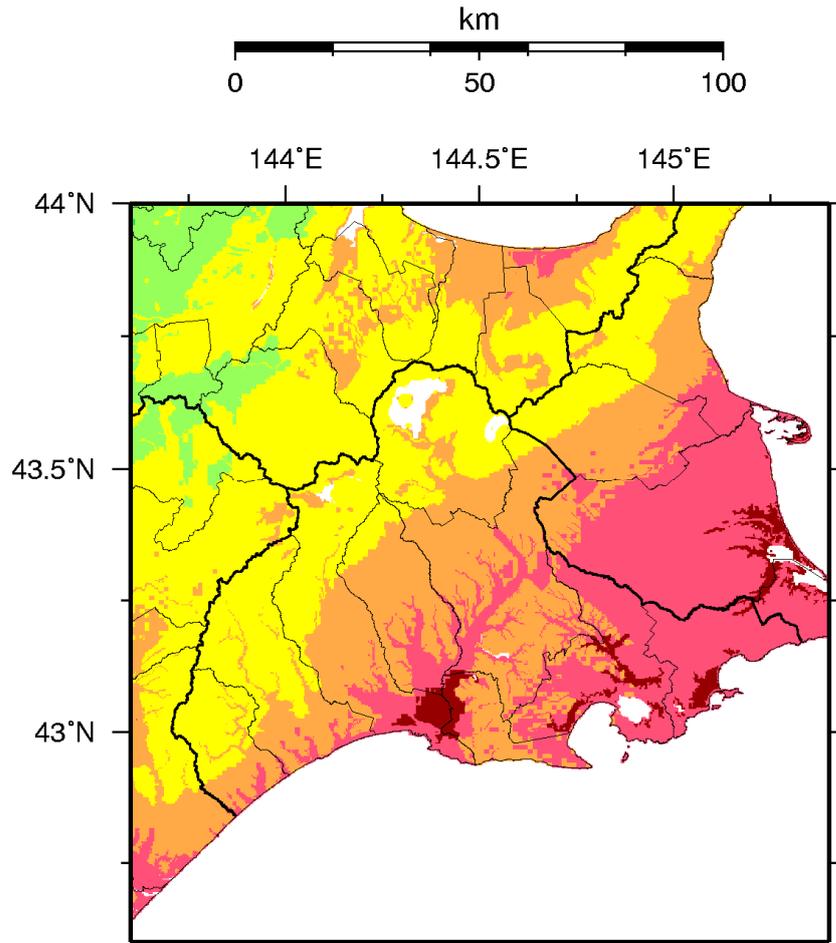
釧路支庁(釧路市)：高い。

千島海溝沿いの沈み込んだ太平洋プレート内のやや深い地震・やや浅い地震(ともにカテゴリーⅡ)の影響度が高くなっています。また、十勝沖・根室沖の地震(カテゴリーⅠ)の影響度も高くなっています。

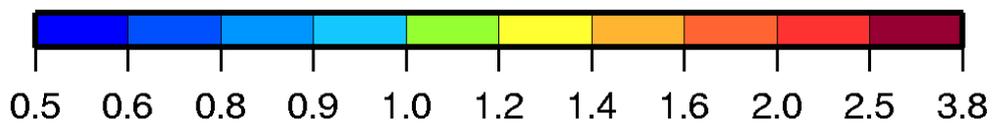
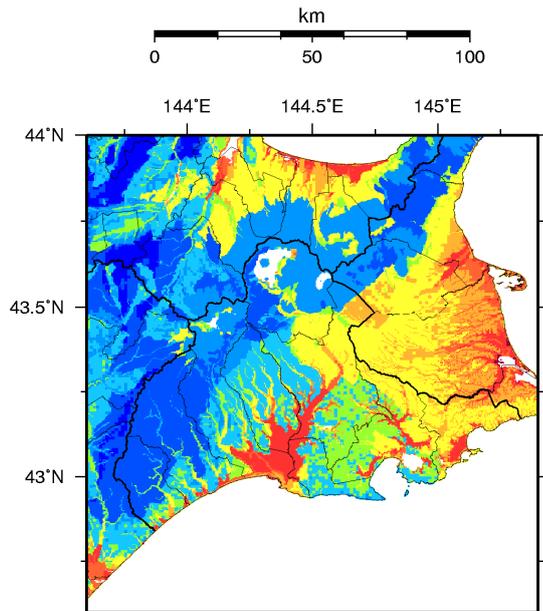


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

釧路支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する 地震カテゴリー別の影響度

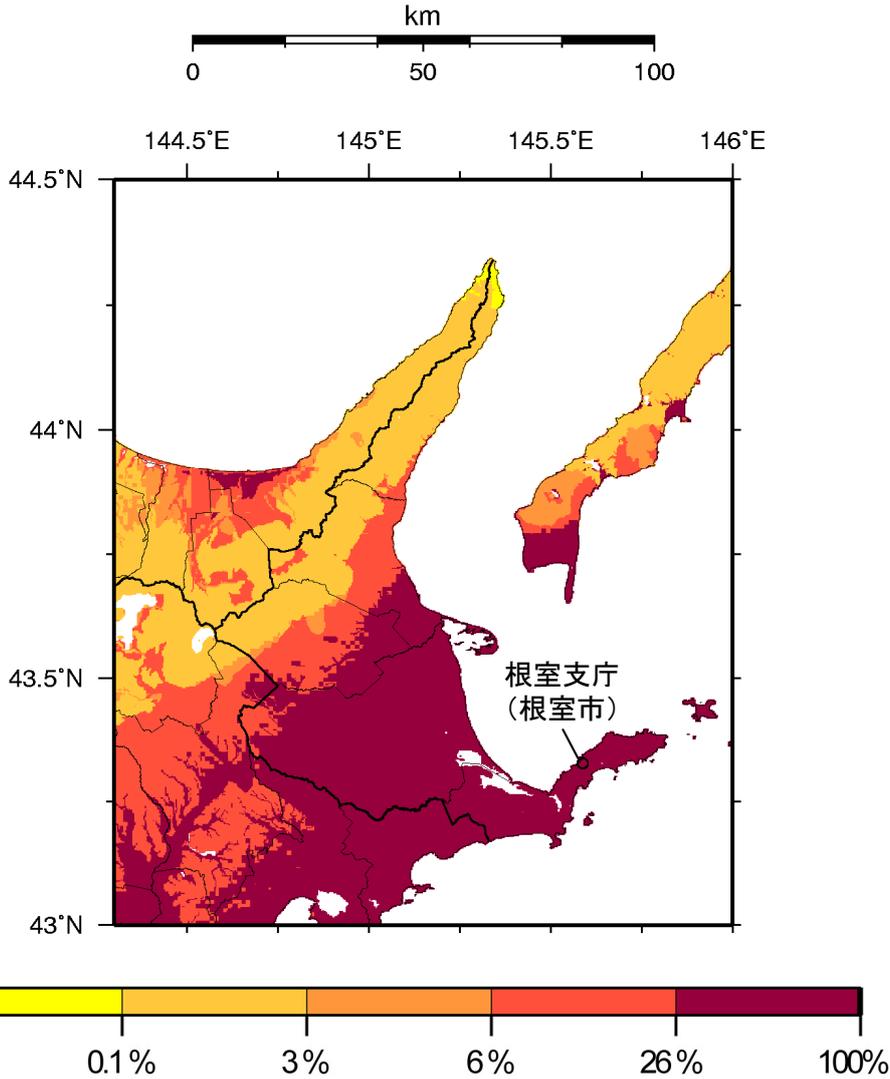


今後30年間にその値以上の揺れに見舞われる確率が3%となる震度



表層地盤増幅率

根室支庁(北方四島を除く)



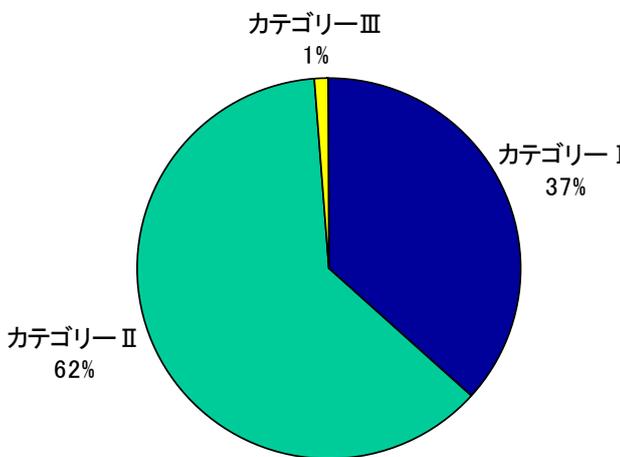
今後30年間に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率 (30年超過確率)

地図概況

南東側ほど、海溝型地震(カテゴリーⅠ、Ⅱ)の影響が大きくなります。また北部の山地に比べると、南部の根釧台地や沿岸部、それらの中でも特に河川・湖沼沿いや低湿地では、地盤増幅率が高く、確率・震度ともに大きくなります。

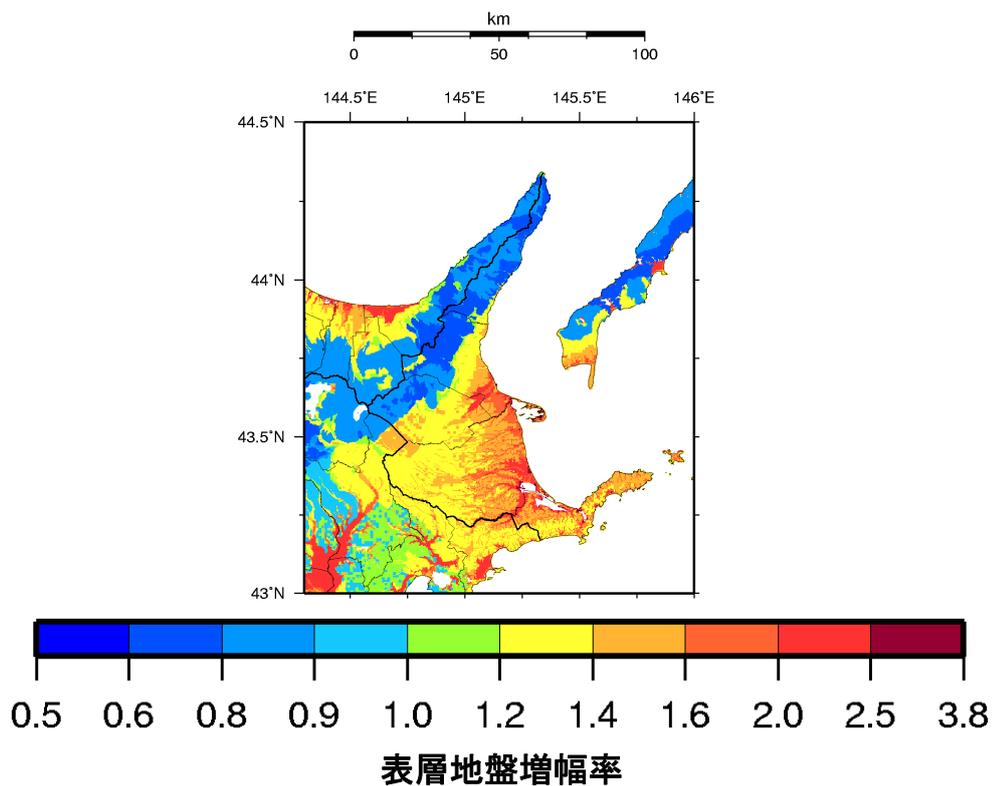
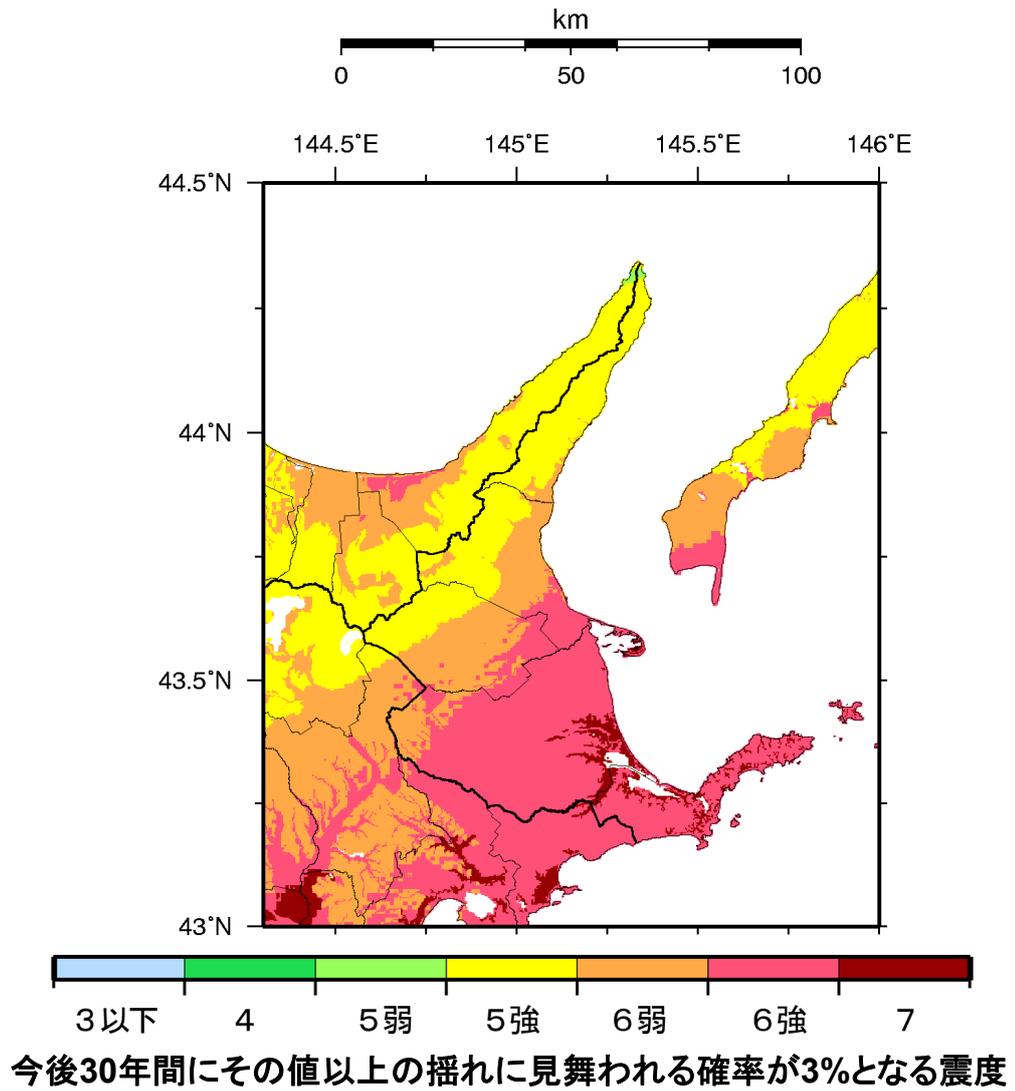
根室支庁(根室市)：高い。

カテゴリーⅡの地震の影響度が最も高くなっています。これは、千島海溝沿いの沈み込んだ太平洋プレート内のやや深い地震・やや浅い地震や、沈み込んだ太平洋プレート内の震源を予め特定しにくい地震によるものと考えられます。また、十勝沖・根室沖の地震(カテゴリーⅠ)の影響度も高くなっています。

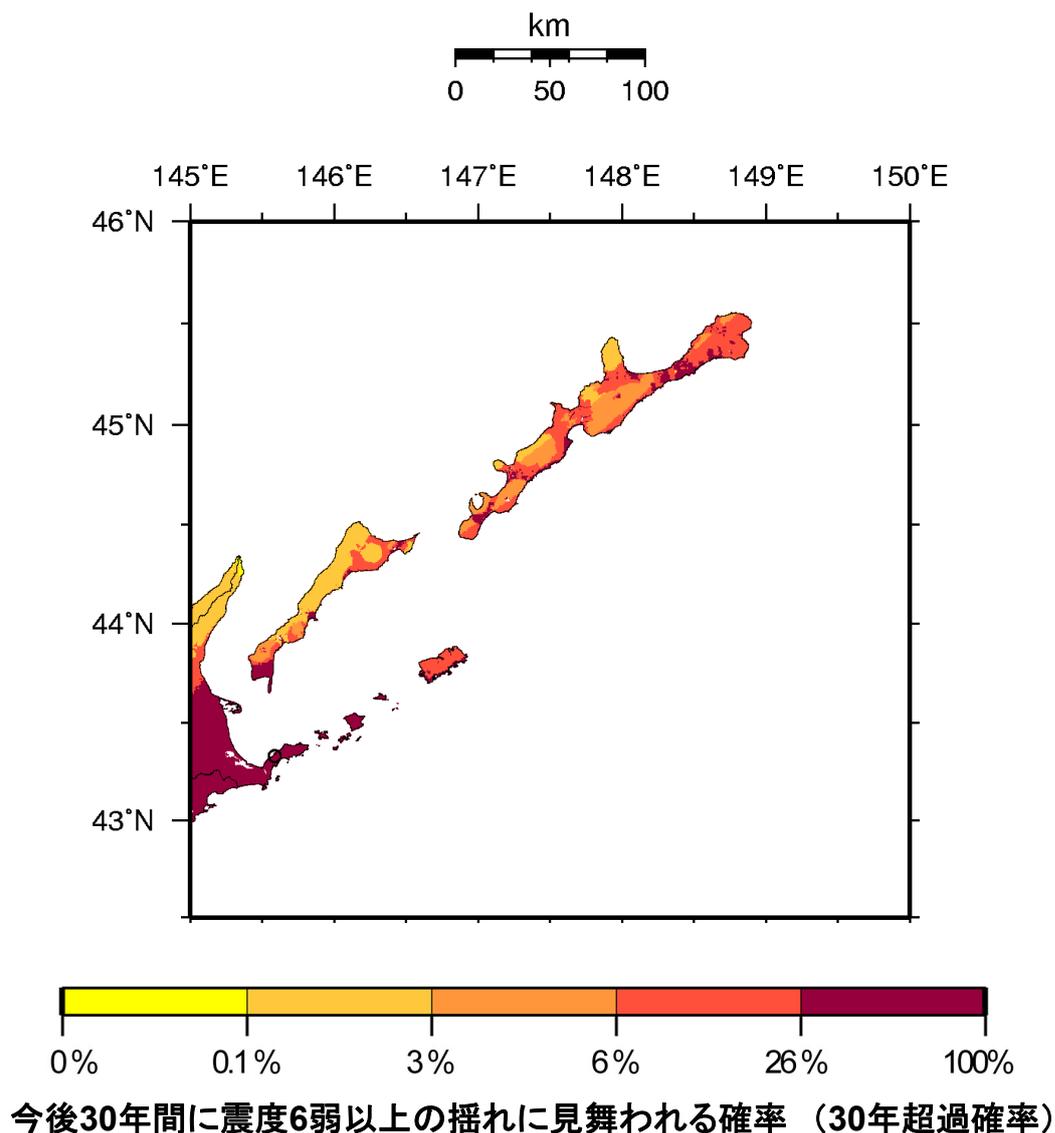


カテゴリーⅠ：海溝型地震のうち震源断層を特定できる地震
 カテゴリーⅡ：海溝型地震のうち震源断層を特定しにくい地震
 カテゴリーⅢ：活断層など陸域と海域の浅い地震

根室支庁の位置における 今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率に対する地震カテゴリー別の影響度



根室支庁(北方四島)



地図概況

千島海溝に沿う列島という地理的条件から、海溝型地震(カテゴリー I, II)の影響が大きく、特に低湿地や沿岸部では、確率・震度ともに大きくなると考えられます。

